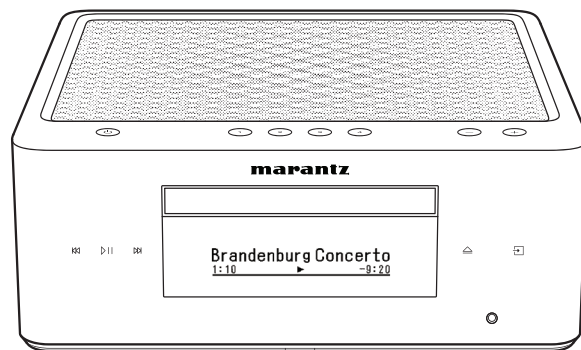


marantz



MCR 60n | Network CD Receiver

取扱説明書

目次

使用上のご注意	7
携帯電話使用時のご注意	7
お手入れについて	7
結露(つゆつき)について	7
換気についてのご注意	7
移動させるときのご注意	7
付属品	8
乾電池の入れかた	9
リモコンの使いかた	9
各部の名称	10
フロント/トップパネル	10
リアパネル	13
リモコン	15

接続のしかた

スピーカーを接続する	20
スピーカーケーブルを接続する	21
標準 (A、B または A+B) 接続 (BTL 接続)	22
パラレル BTL 接続	23
バイアンプ接続	24
サブウーハーを接続する	25
パワードスピーカーを接続する	26
デジタル機器を接続する	27
アナログ機器を接続する	28
USB 端子に USB メモリーを接続する	29
FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続する	30
ホームネットワーク (LAN) に接続する	32
有線 LAN	32
無線 LAN	33
電源コードを接続する	34

再生のしかた

基本操作	37
電源を入れる	37
電源をスタンバイにする	37
入力ソースを選ぶ	38
音量を調節する	38
一時的に音を消す(ミュートイング)	38
インターネットラジオを聴く	39
インターネットラジオを聴く	40
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	41
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	42
USB メモリーを再生する	44
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	45
Bluetooth 機器の音楽を聴く	47
Bluetooth 機器の音楽を聴く	48
2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする	49
Bluetooth 機器から本機に再接続する	49

Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	50
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	51
Bluetooth ヘッドホンの音量を調節する	52
接続している Bluetooth ヘッドホンのデバイス名を確認する	52
Bluetooth ヘッドホンに再接続する	53
Bluetooth ヘッドホンを切断する	53
HEOS アプリをダウンロードする	54
HEOS アプリに初めて HEOS 機能搭載機器をセットアップする	55
HEOS アプリに HEOS 機能搭載機器の登録を追加する	56
HEOS アカウント	57
ストリーミング音楽サービスを再生する	58
同じ音楽を複数の部屋で聴く	60

CD を再生する	64	デジタル入力を再生する	74
CD を再生する	64	アナログ入力を再生する	75
好みの順序で再生する(プログラム再生)	66	AirPlay 機能	76
データ CD を再生する	67	iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を本機で再生する	77
ファイルを再生する	68	Windows パソコンの曲を本機で再生する	77
FM 放送または AM 放送を聴く	70	Spotify Connect 機能	78
FM 放送または AM 放送を聴く	70	Spotify の曲を本機で再生する	78
受信モードを変更する(チューニングモード)	71	便利な機能	79
FM/AM 放送局をプリセットする	71	HEOS お気に入りを再生する	80
FM 放送局を自動的にプリセットする(オートプリセット)	72	HEOS お気に入り追加する	80
プリセットリストに登録した放送局を聴く	72	HEOS お気に入り削除する	81
プリセットリストから放送局を削除する	73	音質および音量バランスを調節する	81
		サウンドモードを選ぶ	83
		Dirac Live フィルターを選択する(Dirac Live)	83
		ディスプレイの明るさを切り替える	83
		スリープタイマーを設定する	84
		現在の時刻を確認する	84
		スマートセレクト機能	85
		マルチドライブ接続をして 2 つの部屋で音楽を聴く	86
		フロント/トップパネルロック機能	88
		リモートロック機能	90
		トレイロック機能	91

設定のしかた

設定メニュー 一覧	93
設定メニューの操作のしかた	95
オーディオ	96
音量の上限	96
Dirac Live フィルター	96
HP アンプゲイン	96
オーディオ出力	97
スピーカー	98
アンプモード	98
レスポンス	98
サブウーハー	99
Dirac Live セットアップ	99
テレビ	100
テレビ入力	100
HDMI パワーオフコントロール	101

一般	102
アラーム	102
時計	103
時計モード	104
CD の自動再生	104
ステータス表示 LED	104
言語	104
オートスタンバイ	105
ファームウェア	105
リセット	105
ネットワーク	106
ネットワーク情報	106
Wi-Fi	106
Bluetooth	107
ネットワーク制御	108
AirPlay 設定	108

困ったときは

こんなときの解決方法	110
故障かな？と思ったら	112
電源が入らない / 電源が切れる	113
電源表示が点滅している	113
リモコンで操作ができない	115
本機のディスプレイが表示されない	115
音がまったく出ない	116
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	117
希望する音が出ない	119
AirPlay 再生ができない	120
USB メモリーが再生できない	121
USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない	122
Bluetooth が再生できない	122
インターネットラジオが再生できない	125
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない (ミュージックサーバー)	126
各種オンラインサービスが再生できない	127
無線 LAN ネットワークに接続できない	127
ディスクが再生できない	128
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI/Optical)	129
入力ソースが“HDMI”または“Optical”に切り替わる	129
HDMI コントロール機能がはたらかない	129
アップデート/アップグレードエラーメッセージ	130

ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す	131
ファクトリーリストア	132
保証と修理について	133

付録

ステータス表示 LED について	135
ディスクの再生について	139
ファイル	139
ファイルの再生順番について	140
フォルダとファイルについて	141
USB メモリーの再生について	142
メディア使用時のご注意	144
ディスクの入れかた	144
メディアの取り扱いについて	145
ディスクのお手入れのしかた	145
デジタル入力	146
Bluetooth 機器の再生について	146
パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について	147
インターネットラジオの再生について	148
ラストファンクションメモリー	148
HDMI について	149
用語の解説	150
登録商標について	155
主な仕様	157
索引	162

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

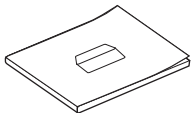
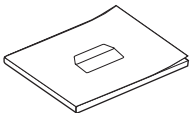
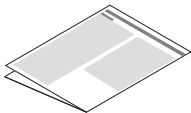
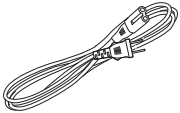
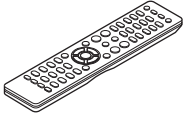
お買い上げいただきありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

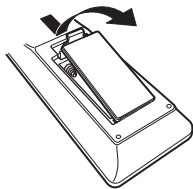
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

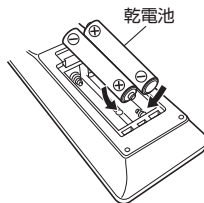
 かんたんスタートガイド (保証書を含む)	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 電波に関するご注意
 電源コード 【本機専用】	 リモコン (RC016CR)	 単4形乾電池(2本)	 FM室内アンテナ
 AMループアンテナ			

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



- 2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



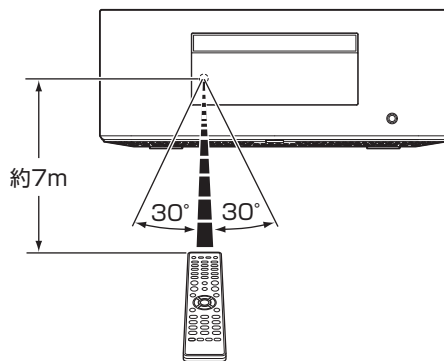
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
- 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

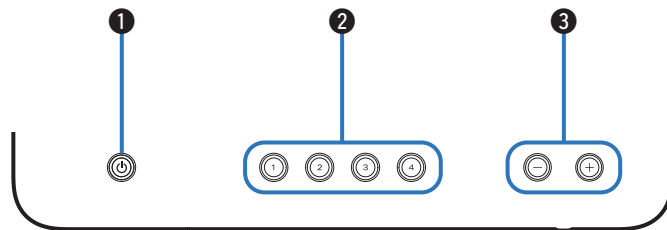
リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



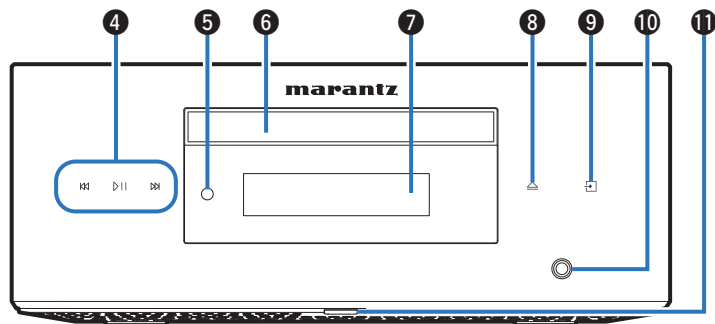
各部の名前

フロント/トップパネル

【トップパネル】

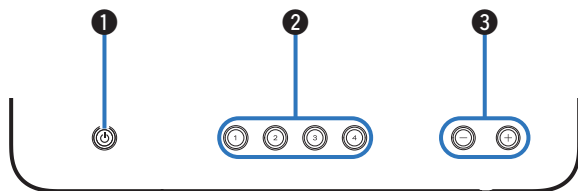


【フロントパネル】

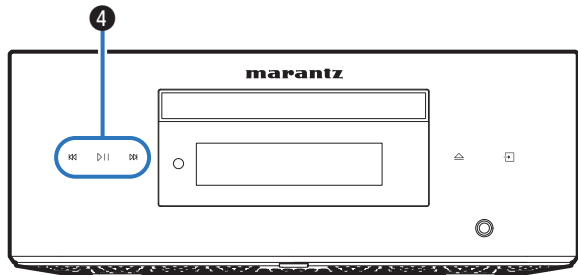


詳しくは、次のページをご覧ください。

【トップパネル】



【フロントパネル】



① 電源ボタン(🔌)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(🔌 37 ページ)

電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

- 白色:電源オン時
- 消灯:スタンバイ時

② スマートセレクトボタン(1~4)

それぞれのボタンに登録している入力ソース、音量およびオーディオ設定などの複数の設定をワンタッチで呼び出します。(🔌 85 ページ)

③ 音量調節ボタン(+/-)

音量を調節します。(🔌 38 ページ)

④ システムキー

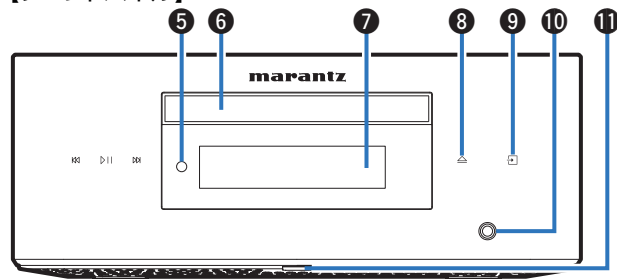
再生に関する操作をします。

- プレイ/ポーズキー(▶||)
- 再生中にタッチすると、一時停止します。一時停止または停止中に押すと、再生を再開します。
- スキップキー(⏮)
- 再生中にタッチすると、次の曲を再生します。
- スキップキー(⏭)
- 再生中にタッチすると、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。



- 入力ソースやオンラインサービスによっては、操作できません。

【フロントパネル】



⑤ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.9 ページ)

⑥ ディスクトレイ

ディスクを挿入します。(P.144 ページ)

⑦ ディスプレイ

各種情報を表示します。

⑧ ディスクトレイ開閉キー(△)

ディスクトレイを開閉します。(P.64 ページ)

⑨ 入力ソース切り替えキー(→)

入力ソースを切り替えます。(P.38 ページ)

⑩ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカー端子およびアナログ音声出力端子(サブウーハー端子を含む)から音が出なくなります。

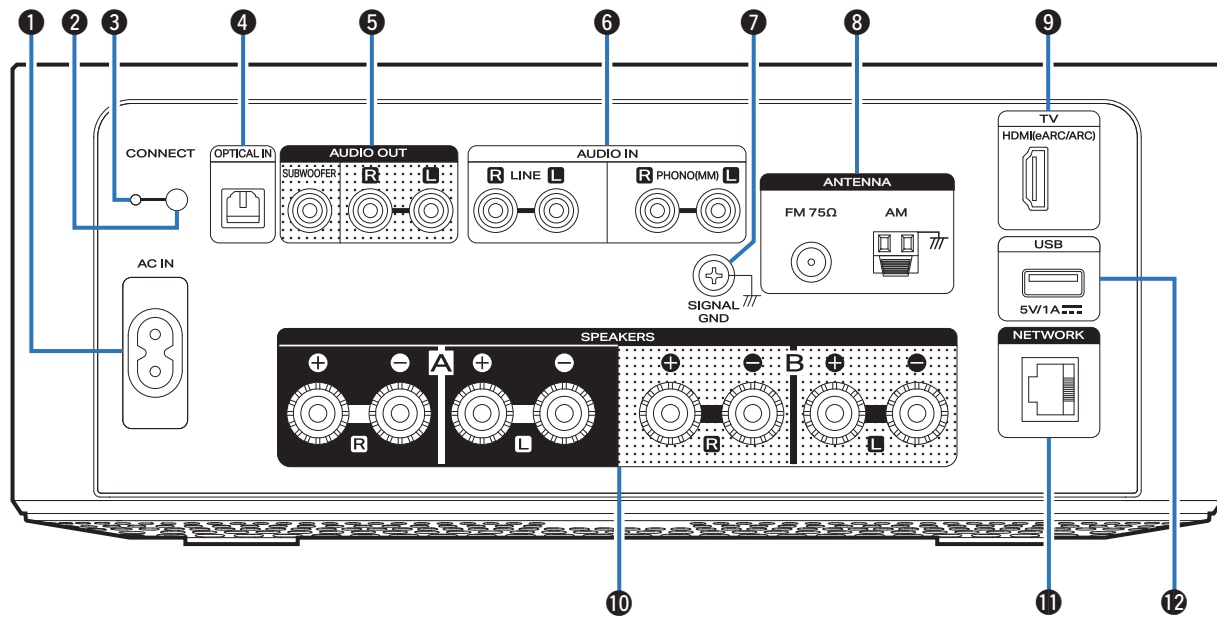
ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

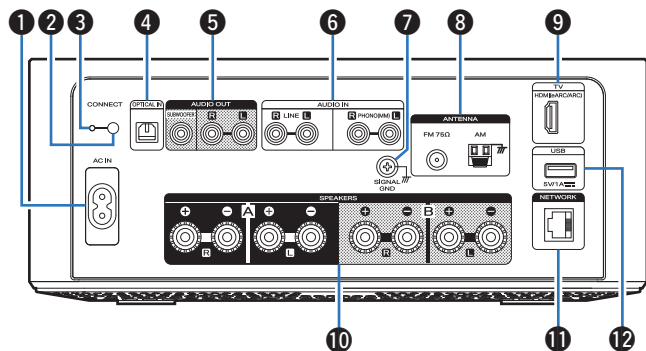
⑪ ステータス LED

詳しくは、「ステータス表示 LED について」(P.135 ページ)をご覧ください。

リアパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(P.34 ページ)

② CONNECT ボタン

無線 LAN のセットアップに使用します。

③ CONNECT LED

本機の状態を表示します。(P.135 ページ)

④ 光デジタル音声入力端子(OPTICAL IN)

光デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。(P.27 ページ)

⑤ アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)

サブウーハーやパワースピーカーを接続します。

- 「サブウーハーを接続する」(P.25 ページ)
- 「パワースピーカーを接続する」(P.26 ページ)

⑥ アナログ音声入力端子(AUDIO IN)

アナログ音声出力端子付きの機器を接続します。(P.28 ページ)

⑦ アース端子(SIGNAL GND)

レコードプレーヤーのアース線を接続します。(P.28 ページ)

⑧ アンテナ端子(ANTENNA)

FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続します。(P.30 ページ)

⑨ TV 接続端子(HDMI(eARC/ARC))

eARC/ARC 機能対応のテレビを接続します。(P.27 ページ)

⑩ スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。(P.20 ページ)

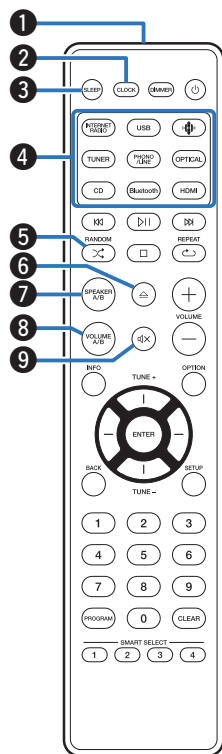
⑪ ネットワーク端子(NETWORK)

有線 LAN でネットワークに接続する際に LAN ケーブルを接続します。(P.32 ページ)

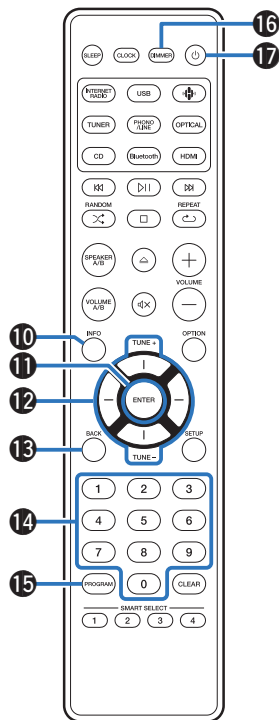
⑫ USB 端子

USB ストレージ(USB メモリーなど)を接続します。(P.29 ページ)

リモコン



- ① **リモコン信号送信窓**
リモコンの信号を送信します。(P.9 ページ)
- ② **クロックボタン(CLOCK)**
現在時刻を表示します。(P.84 ページ)
- ③ **スリープタイマーボタン(SLEEP)**
スリープタイマーを設定します。(P.84 ページ)
- ④ **入力ソース選択ボタン**
入力ソースを選択します。(P.38 ページ)
- ⑤ **ランダムボタン(RANDOM ㄻ)**
ランダム再生をします。
- ⑥ **ディストレイ開閉ボタン(△)**
ディストレイを開閉します。(P.64 ページ)
- ⑦ **スピーカー A/B ボタン(SPEAKER A/B)**
“アンプモード”を“標準 (A、B または A+B)”に設定している場合、音声出力するスピーカーを切り替えます。(P.87 ページ)
- ⑧ **音量 A/B ボタン(VOLUME A/B)**
スピーカー A とスピーカー B が有効の場合、音量を調節したいスピーカーを選びます。(P.87 ページ)
- ⑨ **ミュートボタン(㊦)**
消音します。(P.38 ページ)



10 インフォメーションボタン(INFO)

ディスプレイに表示する、再生中の曲情報を切り替えます。

11 エンターボタン(ENTER)

選択した内容を確定します。

12 カーソルボタン

項目を選択します。

選局ボタン(TUNE +, -)

チューナーを操作します。(参照 70 ページ)

13 バックボタン(BACK)

ひとつ前の項目に戻ります。

14 数字ボタン(0~9)

数字を入力します。

15 プログラムボタン(PROGRAM)

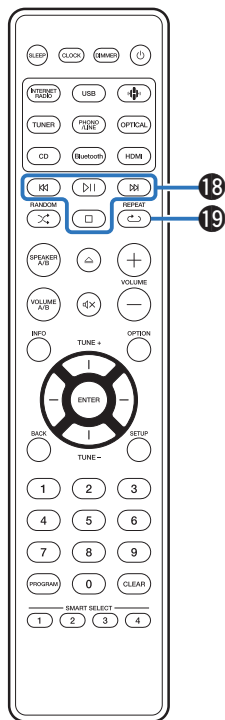
- プログラム再生をします。(参照 66 ページ)
- データ CD の再生範囲を切り替えます。(参照 69 ページ)

16 デイマーボタン(DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。(参照 83 ページ)

17 電源ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(参照 37 ページ)



18 システムボタン

再生に関する操作をします。

- プレイ/ポーズボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、一時停止します。また、一時停止中および停止中にボタンを押すと、最後に再生した音楽の再生を再開します。

- スキップボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。

FM/AM 放送再生中にボタンを押すと、プリセットリストに登録した放送局を選べます。(P.72 ページ)

- スキップボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。

FM/AM 放送再生中にボタンを押すと、プリセットリストに登録した放送局を選べます。(P.72 ページ)

- ストップボタン(⏮)

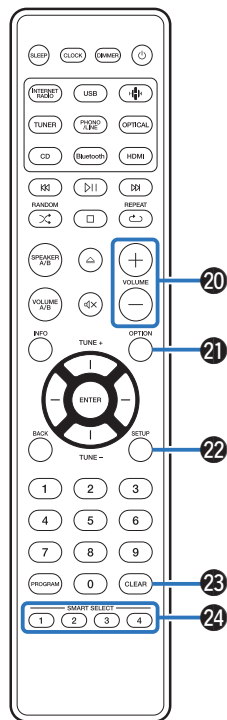
再生中にボタンを押すと、停止します。



- 入力ソースやオンラインサービスによっては、操作できません。

19 リピートボタン(REPEAT ⏮)

リピート再生をします。



②① 音量調節ボタン(VOLUME +)

音量を調節します。(P.38 ページ)

②② オプションボタン(OPTION)

オプションメニューをディスプレイに表示します。

②③ セットアップボタン(SETUP)

ディスプレイに設定メニューを表示します。(P.93 ページ)

②④ クリアボタン(CLEAR)

- 数字の入力を取り消します。
- プログラム再生の登録を取り消します。(P.66 ページ)

②⑤ スマートセレクトボタン(SMART SELECT 1~4)

それぞれのボタンに登録している入力ソース、音量およびオーディオ設定などの複数の設定をワンタッチで呼び出します。(P.85 ページ)

接続のしかた

■ 目次

スピーカーを接続する	20
デジタル機器を接続する	27
アナログ機器を接続する	28
USB 端子に USB メモリーを接続する	29
FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続する	30
ホームネットワーク (LAN) に接続する	32
電源コードを接続する	34

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

スピーカーケーブル	
サブウーハーケーブル	
HDMI ケーブル	
光伝送ケーブル	
オーディオケーブル	
LAN ケーブル	

スピーカーを接続する

本機は 4ch のアンプを内蔵し、スピーカー構成や音の好みに応じて 3 つのアンプモードを選択できます。

• 標準 (A、B または A+B) (BTL 接続)

本機には 1 組または 2 組のスピーカーを接続でき、それぞれの音量を個別に調節できます。

詳しくは、「標準 (A、B または A+B) 接続 (BTL 接続)」(P.22 ページ)をご覧ください。

• パラレル BTL

低域の制動力が向上し、より力強くクリアな音質をお楽しみいただけます。このモードでは、スピーカーは 1 組のみ接続できます。

詳しくは、「パラレル BTL 接続」(P.23 ページ)をご覧ください。

• バイアンプ

高域と低域をそれぞれ独立したアンプで駆動することで、音の分離が良く、よりクリアで見通しの良い音をお楽しみいただけます。ツイーター用端子とウーハー用端子が備わっているスピーカーをお使いください。

詳しくは、「バイアンプ接続」(P.24 ページ)をご覧ください。

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。「保護回路」(P.154 ページ)
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが 4~16Ω のものを使用してください。

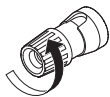
スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+ (赤)、- (黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

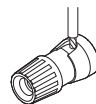
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじる。



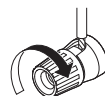
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



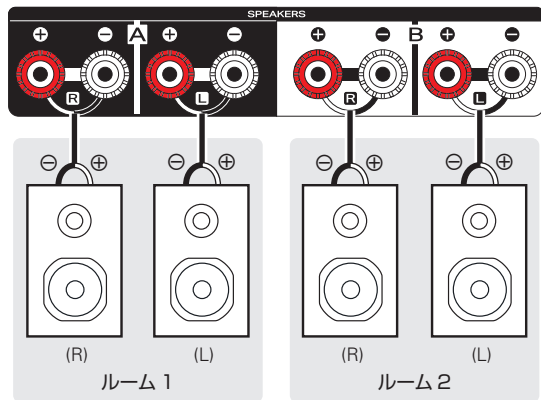
- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。



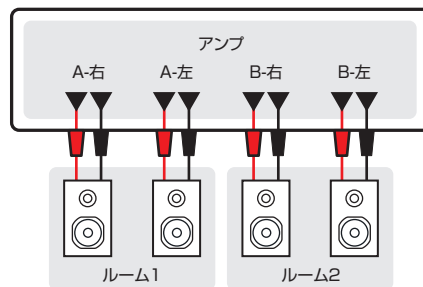
- 4 スピーカー端子を右に回して締める。



標準 (A、B または A+B) 接続 (BTL 接続)



この接続では、1 組または 2 組のスピーカーを本機に接続できます。1 組のスピーカーを 2ch アンプで駆動し、残りの 2ch アンプはもう 1 組のスピーカーの駆動に使用できます。2 組のスピーカーを接続した場合、4 台すべてのスピーカーから同時に音声を再生したり、再生するスピーカーを切り替えたりできるほか、音量も個別に調節することもできます。



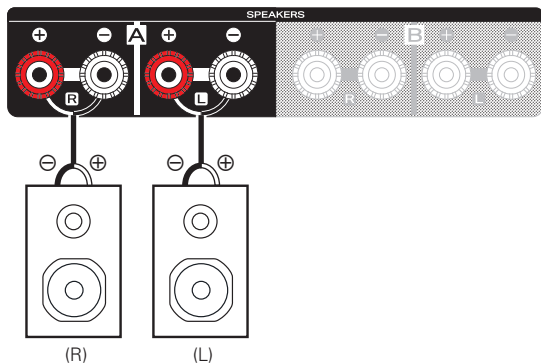
ご注意

- 両方のスピーカーから同じ音声出力されます。スピーカーごとに異なる音源は再生できません。



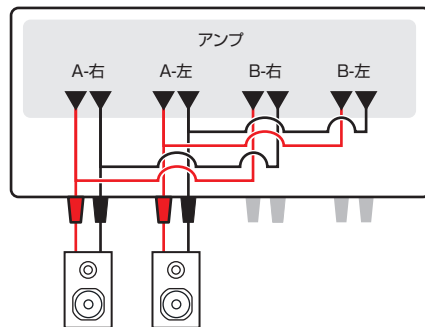
- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“スピーカー” - “アンプモード”を“標準 (A、B または A+B)”に設定してください。(P.98 ページ)
- SPEAKERS A 端子に 1 組のスピーカーを接続してお使いいただくこともできます。
- スピーカー A に加えてスピーカー B を接続することで、各スピーカーから個別に、または両方から音声を出力して楽しめるマルチドライブ接続が可能になります。(P.86 ページ)

パラレル BTL 接続

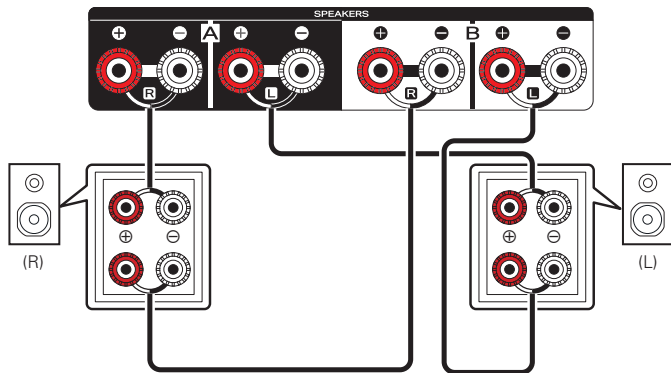


- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“スピーカー” - “アンプモード”を“パラレル BTL”に設定してください。(P.98 ページ)

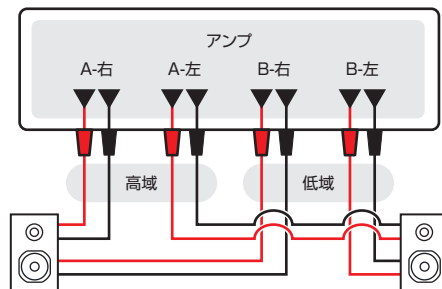
この接続では、SPEAKERS A 端子に接続した 1 組のスピーカーを 4ch すべてのアンプで駆動するため、約 2 倍の駆動力が得られます。これにより、低音域のコントロールが向上するとともに、よりパワフルでクリアなサウンドを楽しむことができます。なお、この接続ではスピーカーは 1 組のみ接続可能です。



バイアンプ接続



この接続では、1組のスピーカーに4chすべてのアンプを使用し、高域と低域をそれぞれ独立したアンプで駆動します。これにより、音の分離が良く、よりクリアで見通しの良い音を楽しめます。なお、この機能を使用するには、ツイーター用端子とウーハー用端子を備えた、バイアンプ対応スピーカーが必要です。



- この接続をおこなう場合は、設定メニューの“スピーカー” - “アンプモード”を“バイアンプ”に設定してください。(p.98 ページ)

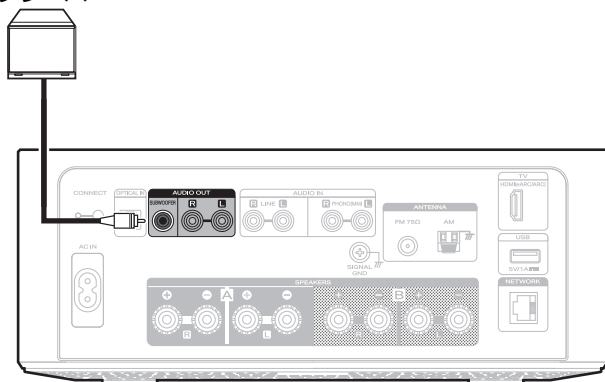
ご注意

- バイアンプ接続をおこなう場合は、スピーカーのウーハー端子とツイーター端子を接続している短絡板または短絡用ワイヤーを必ず外してください。

サブウーハーを接続する

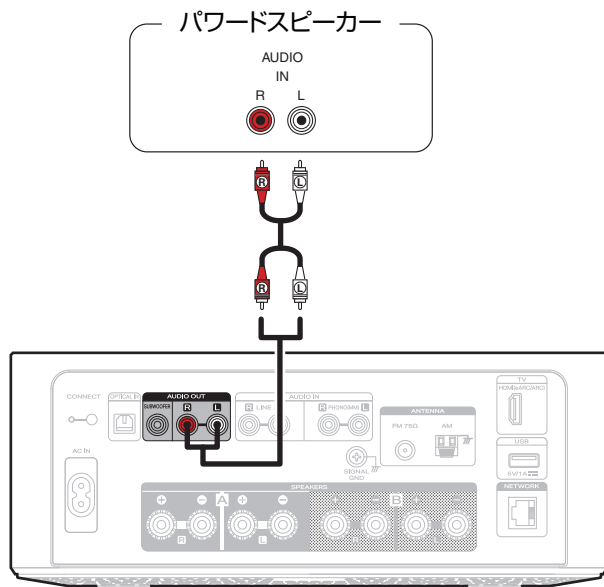
サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーと接続します。

サブウーハー



- サブウーハーの音量は、スピーカー A の音量に連動します。
- 音声出力先のスピーカーを“スピーカー B が有効になりました”に設定したとき、本機はサブウーハー出力をおこないません。(P.87 ページ)

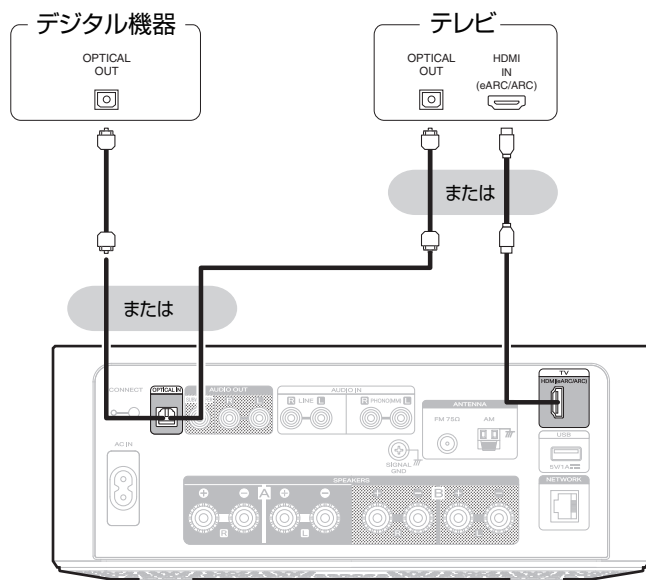
パワードスピーカーを接続する



- アナログ音声出力の音量調節について、“可変出力”と“固定出力”の切り替えができます。(P.97 ページ)
- アナログ音声出力の音量調節を“可変出力”にした場合、その音量はスピーカー A の音量に連動します。(P.97 ページ)
- 音声出力先のスピーカーを“スピーカー B が有効になりました”に設定した場合、本機はアナログ音声出力をおこないません。(P.87 ページ)
- パワードスピーカーを本機に接続する場合、パワードスピーカーの取扱説明書もご覧ください。

デジタル機器を接続する

テレビなどのデジタル出力端子付きの機器と接続します。



- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の HDMI eARC/ARC 端子にテレビを接続する場合、eARC/ARC 機能に対応したテレビの HDMI 入力端子に接続してください。
- eARC/ARC 機能に非対応のテレビと接続する場合でも、光デジタル接続によりテレビの音声を本機で再生できます。

再生できる音声信号の仕様

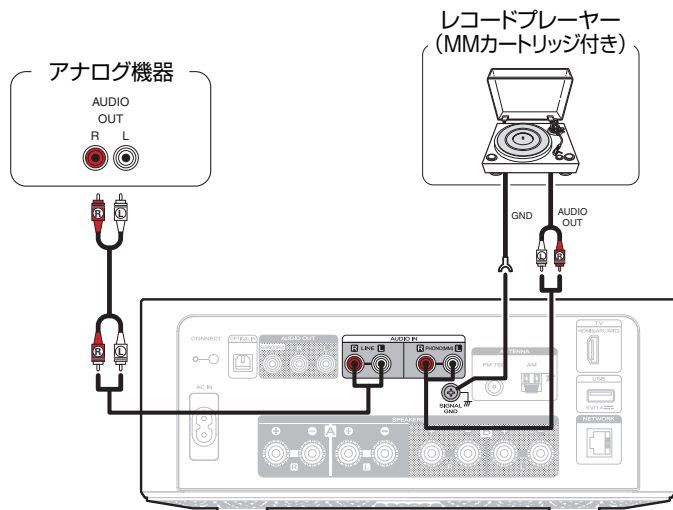
「デジタル入力」(P.146 ページ)をご覧ください。

アナログ機器を接続する

アナログ出力端子を持つ機器と接続します。

本機は、MM カートリッジ付きのレコードプレーヤーに対応しています。MC カートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、別売りの MC ヘッドアンプまたは昇圧トランスを使用してください。

本機の入力ソースを“PHONO”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音から出力される場合があります。

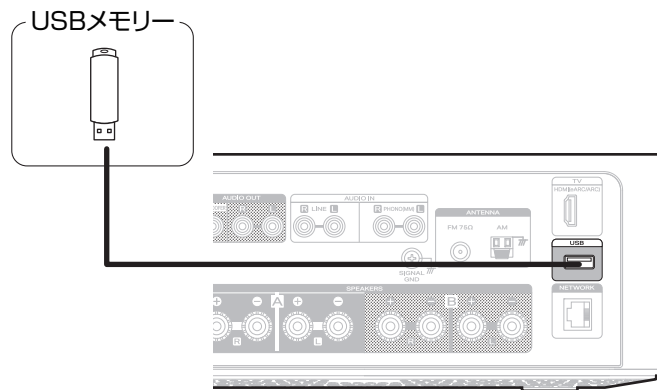


ご注意

- 本機のアース端子 (SIGNAL GND) は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。

USB 端子に USB メモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーを再生する」(P.44 ページ)をご覧ください。



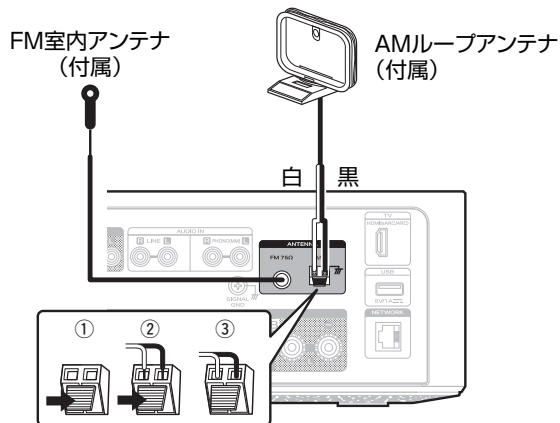
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

FM室内アンテナやAMループアンテナを接続する

アンテナを接続したあとに放送を受信し、雑音の少ない位置にテープなどでアンテナを固定してください。「FM 放送または AM 放送を聴く」(P.70 ページ)



- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

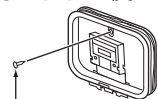
ご注意

- AM ループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないか確認してください。

■ AM ループアンテナの使いかた

壁に掛けて使う

組み立てずにそのままお使いください。

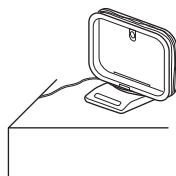


くぎや画びょうなど

置いて使う

図のように組み立ててお使いください。

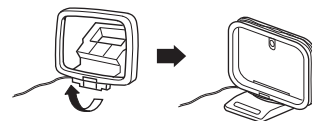
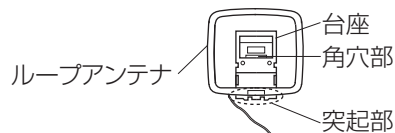
組み立てかたは、「AM ループアンテナの組み立てかた」をご覧ください。



■ AM ループアンテナの組み立てかた

1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。

2 突起部を台座の角穴部に、差し込む。



ホームネットワーク(LAN)に接続する

本機は有線 LAN または無線 LAN を使用して、ネットワークに接続できます。

本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

- インターネットラジオやメディアサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- ストリーミング音楽サービスの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- HEOS 無線マルチルームサウンドシステムでの動作
- ファームウェアのアップデート

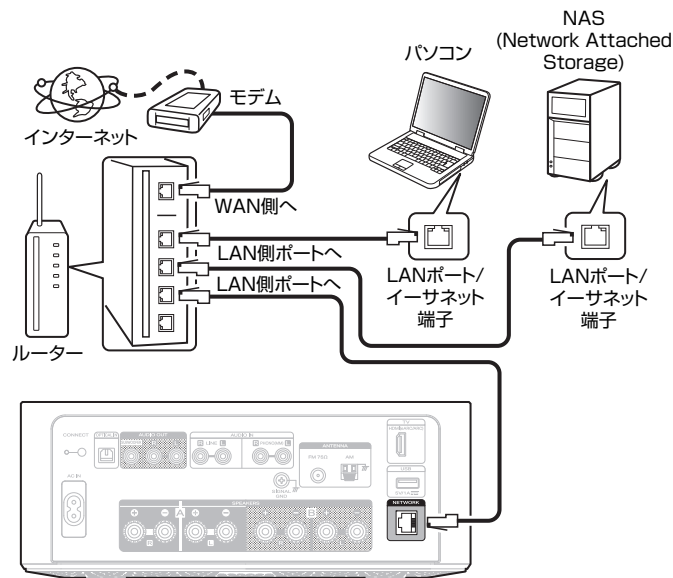
インターネットの接続については、ISP(Internet Service Provider)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。



- 本機のディスプレイに  が表示されている場合、本機はネットワークに接続していません。

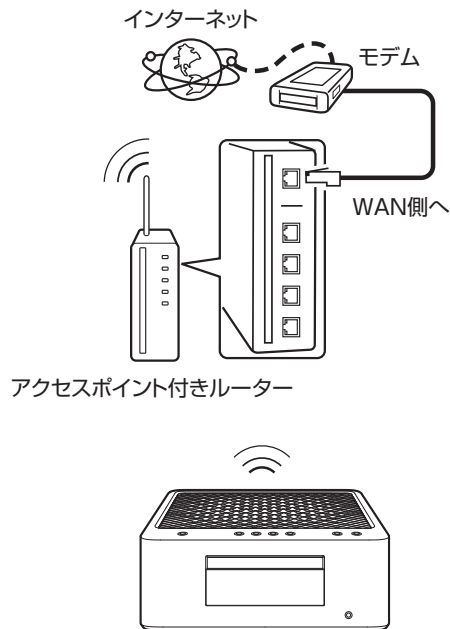
有線 LAN

有線 LAN で接続する場合は、図のようにルーターと本機を LAN ケーブルで接続してください。



無線 LAN

無線 LAN ルーターに接続するには、HEOS アプリをお手持ちのモバイル端末にダウンロードして、本機のセットアップをおこなってください。(P.54 ページ)



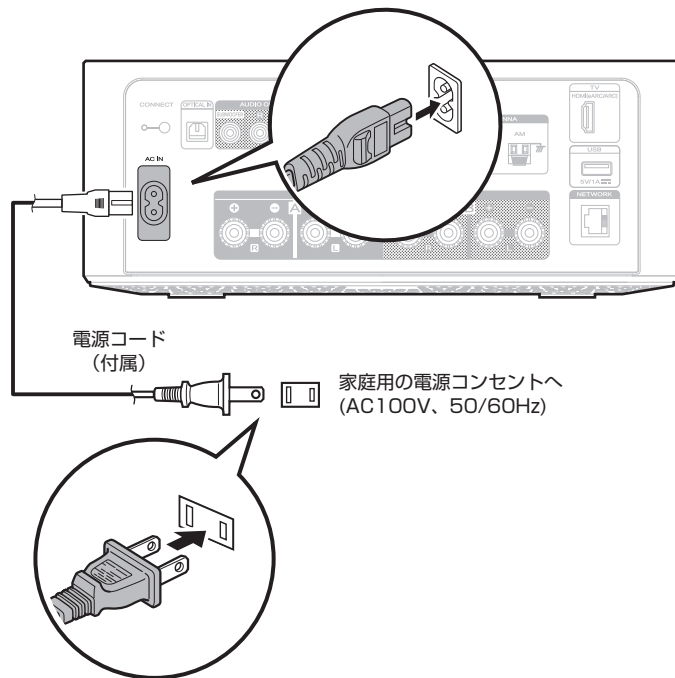
- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルーターをおすすめします。
 - DHCP サーバー内蔵
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
 - 100BASE-TX スイッチ内蔵
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。(CAT-5 以上を推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。

ご注意

- ISP 業者によって使用できるルーターの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルーターが必要です。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルーター等に LAN 接続してください。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- 各種オンラインサービスは、予告なく終了する場合があります。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる	37
電源をスタンバイにする	37
入力ソースを選ぶ	38
音量を調節する	38
一時的に音を消す(ミュートイング)	38

ネットワークオーディオ/サービスを再生する

インターネットラジオを聴く	39
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	41
HEOS アプリをダウンロードする	54
AirPlay 機能	76
Spotify Connect 機能	78

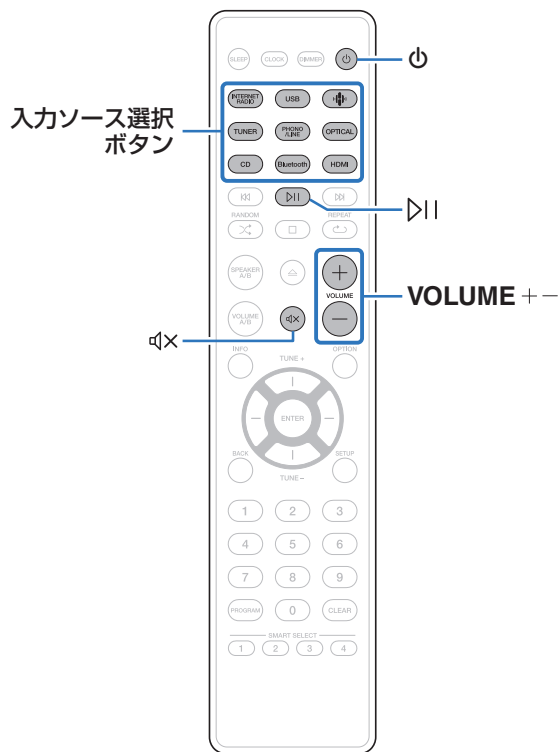
機器を再生する

USB メモリーを再生する	44
Bluetooth 機器の音楽を聴く	47
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	50
CD を再生する	64
データ CD を再生する	67
FM 放送または AM 放送を聴く	70
デジタル入力を再生する	74
アナログ入力を再生する	75

便利な機能

HEOS お気に入り再生する	80
HEOS お気に入りに追加する	80
HEOS お気に入りを削除する	81
音質および音量バランスを調節する	81
サウンドモードを選ぶ	83
Dirac Live フィルターを選択する (Dirac Live)	83
ディスプレイの明るさを切り替える	83
スリープタイマーを設定する	84
現在の時刻を確認する	84
スマートセレクト機能	85
マルチドライブ接続をして 2 つの部屋で音楽を聴く	86
フロント/トップパネルロック機能	88
リモートロック機能	90
トレイロック機能	91

基本操作



電源を入れる

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。

電源表示が白色に点灯します。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。
- DII を押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

1 電源ボタンを押す。

スタンバイ状態になります。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態にすることができます。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

- 1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。
ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。



- TUNER を押すたびに FM/AM を切り替えます。
- 本体の  をタッチしても、入力ソースを選択できます。
- HEOS アプリを使って、使用していない入力ソースを非表示にして選択できなくなしたり、表示される入力ソース名を変更したりできます。
( 111 ページ)

音量を調節する

- 1 VOLUME + を押して音量を調節する。
ディスプレイに音量を表示します。



- 本体の VOLUME + を押しても、音量を調節できます。

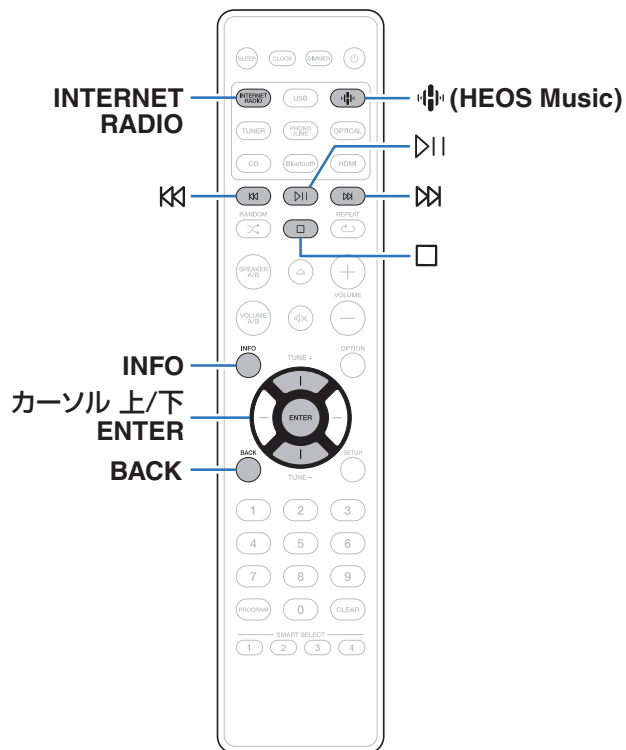
一時的に音を消す(ミュートイング)

- 1  を押す。
ディスプレイに“Mute”を表示します。



- ミュートイングを解除するときは、音量を調節するか、もう一度  を押してください。

インターネットラジオを聴く



- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、TuneIn ラジオサービスのデータベースサービスを利用しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「インターネットラジオの再生について」(P.148 ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- MPEG-4 AAC

インターネットラジオを聴く

1 INTERNET RADIO を押す。

-  (HEOS Music) を押しでも操作ができます。カーソル上/下を押して“Internet Radio”を選び、ENTER を押してください。

2 再生したい放送局を選ぶ。

操作ボタン	機能
▶ *	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭ *	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
BACK	1 つ上の階層に移動
INFO	曲名 - アーティスト名、放送局名およびファイルフォーマットの表示切り替え

* ポッドキャストを再生中に有効です。

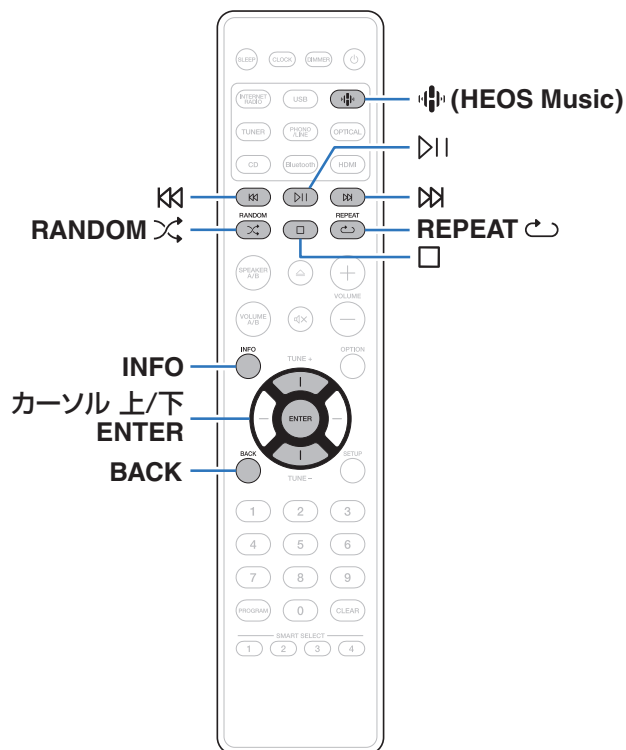


- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.” (ピリオド) に置き換えて表示します。

ご注意

- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンや DLNA 対応の NAS (Network Attached Storage) に保存されている音楽ファイルやプレイリスト (m3u, wpl) を再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について」(P.147 ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- DSD

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

DLNA ファイルサーバーに保存されている音楽ファイルやプレイリストを再生する場合におこないます。

1 (HEOS Music)を押す。

再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度  (HEOS Music)を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。

2 カーソル 上/下を押して“Music Servers”を選び、ENTER を押す。

3 ネットワーク上のパソコンまたは NAS (Network Attached Storage)名を選ぶ。

4 パソコンまたは NAS 内の音楽データから、再生する音楽を選ぶ。



- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生している曲の直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

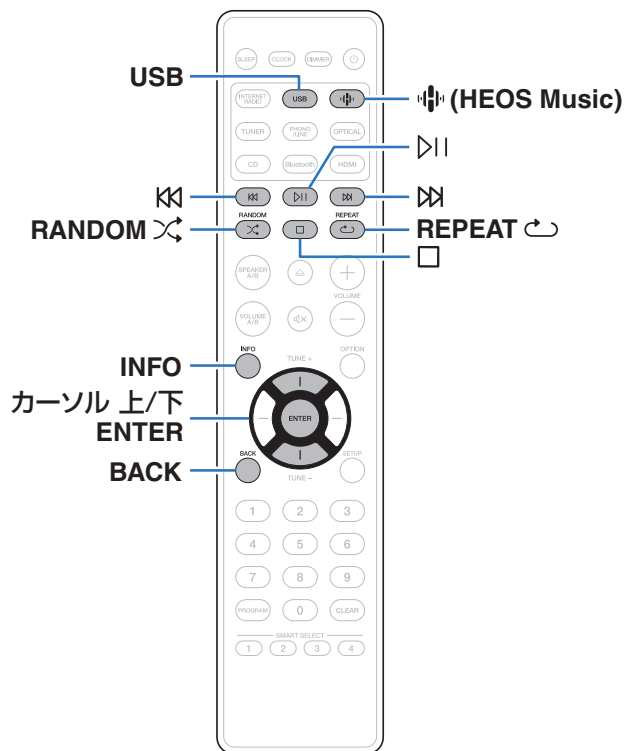
5 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。 再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
BACK	1 つ上の階層に移動
REPEAT ♻	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
RANDOM ✂	ランダム再生
INFO	曲名 - アーティスト名、アルバム名および ファイルフォーマットの表示切り替え

ご注意

- 無線 LAN を経由して接続されたパソコンまたは NAS で音楽ファイルを再生すると、無線 LAN 環境によっては音声途切れることがあります。このような場合は、有線 LAN で接続してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、頭文字での検索が正しく動作せず、曲の表示順がアルファベット順にならない場合があります。

USB メモリーを再生する



- USB メモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マスターストレージクラスに対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーは、“FAT32” または “NTFS” フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「USB メモリーの再生について」(P.142 ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 USB メモリーを USB 端子に挿入する。
- 2 USB を押して、入力ソースを“USB Music”に切り替える。
 -  (HEOS Music) を押しても操作ができます。カーソル上/下を押して“USB Music”を選び、ENTER を押してください。
- 3 本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

4 USB メモリー内の音楽データから、再生したい音楽を選ぶ。



- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生している曲の直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

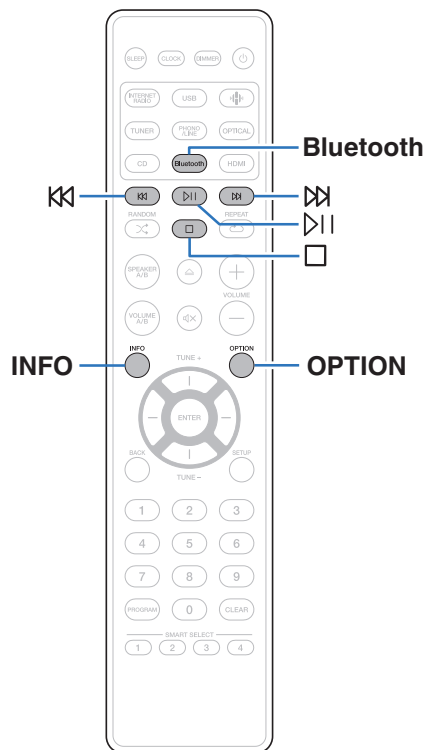
5 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
BACK	1 つ上の階層に移動
REPEAT ♻	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
RANDOM ✂	ランダム再生
INFO	曲名 - アーティスト名、アルバム名および ファイルフォーマットの表示切り替え

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機に USB メモリーを接続すると、本機は USB メモリーのすべてのファイルを読み込みます。USB メモリーにフォルダ数やファイル数が多い場合、読み込みに時間がかかることがあります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。
約 30m の範囲内で通信できます。

ご注意

- Bluetooth 機器の音楽を再生するには、Bluetooth 機器が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。

一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 Bluetooth を押す。

本機で Bluetooth 再生をはじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになります。

2 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。

3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離 (1m 程度) でおこなってください。

4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。
- 次回以降、リモコンの Bluetooth を押した場合、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。

操作ボタン	機能
▶	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
INFO	曲名 - アーティスト名、Bluetooth 機器名、アルバム名およびコードックの表示切り替え

2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

- 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 2 リモコンの Bluetooth を 3 秒以上押す。
本機はペアリングモードになります。
- 3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。



- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- Bluetooth の再生画面が表示されているときに OPTION を押し、表示されたオプションメニューから“ペアリングモード”を選択しても、ペアリングモードに入ることができます。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、本機は Bluetooth 機器で設定している音量と連動して音声を出力します。

Bluetooth 機器から本機に再接続する

ペアリングが済んでいれば、本体を操作せずに接続することができます。

再生する Bluetooth 機器を切り替える場合にもこの操作をおこなってください。

- 1 現在接続している Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 設定をオフにして接続を切断する。
- 2 接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにする。
- 3 お使いの Bluetooth 機器の Bluetooth 機器リストから本機を選択する。
- 4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

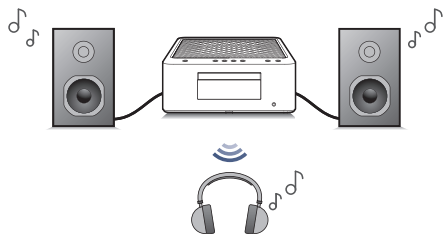


- 本機の電源および Bluetooth 機能がオンのときに Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。
- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から Bluetooth 接続および再生操作をおこなうと、自動的に本機の電源はオンになります。(P.108 ページ)

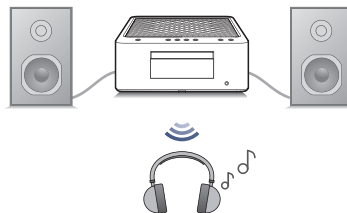
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く

本機で再生している音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くことができます。

本機の Bluetooth 送信機能は、ご使用の環境に合わせてスピーカーと Bluetooth ヘッドホンから音声を同時に出力したり、Bluetooth ヘッドホンからのみ音声を出力したりすることができます。



（出力モード：ヘッドホン + スピーカー）



（出力モード：ヘッドホン）

Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く

1 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で、“ヘッドホン”を“オン”に設定する。(P.107 ページ)

2 “出力モード”を選び、音声の出力方法を設定する。

ヘッドホン + スピーカー (お買い上げ時の設定):	音声は Bluetooth ヘッドホンとスピーカーに出力されます。 Bluetooth ヘッドホンを使用してもスピーカーから音声出力されますので、ご家族と一緒に映画などを楽しむことができます。
ヘッドホン:	音声は Bluetooth ヘッドホンにのみ出力されます。 夜間など一人で音楽や映画を視聴したいときにご使用ください。

3 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンをペアリングモードにする。

4 “デバイス”を選び、デバイスリストから接続したい Bluetooth ヘッドホンの機器名を選ぶ。

5 接続が完了したら、Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節する。



- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth ヘッドホンの音量は、本体やリモコンの VOLUME + ボタンでは調節できません。Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節してください。
- 音量調節機能がない Bluetooth ヘッドホンを使用する場合または十分な音量が得られない場合は、オプションメニューの“Bluetooth ヘッドホン” - “レベル”で音量を調節してください。(P.52 ページ)
- サウンドモードやその他のオーディオ設定は、Bluetooth ヘッドホンの音声出力には反映されません。
- Bluetooth ヘッドホンを使用し、“出力モード”が“ヘッドホン”に設定されている場合は、次の設定を使用できません。
 - 設定メニューの“オーディオ”および“スピーカー”設定
 - オプションメニューの“DBB/Tone”、“バランス”、“サウンドモード”および“Dirac Live フィルター”設定
- Bluetooth ヘッドホンに送信する音声は遅延する場合があります。
- AirPlay の音声は送信できません。
- 入力ソースとして Bluetooth を選択している場合は、Bluetooth ヘッドホンを接続できません。
また、入力ソースとして Bluetooth を選択すると、本機と Bluetooth ヘッドホンの接続が切断されます。

Bluetooth ヘッドホンの音量を調節する

音量調節機能がない Bluetooth ヘッドホンを使用する場合または十分な音量が得られない場合は、オプションメニューの“Bluetooth ヘッドホン” - “レベル”で音量を調節してください。

- 1 **OPTION を押す。**
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 **カーソル 上/下を押して“Bluetooth ヘッドホン”を選び、ENTER を押す。**
- 3 **カーソル 上/下を押して“レベル”を選び、ENTER を押す。**
- 4 **カーソル 上/下を押して音量を調節する。**

-50dB~+10dB (お買い上げ時の設定: 0dB)



- この設定は、接続する Bluetooth ヘッドホンの機種を問わず共通で反映されます。

接続している Bluetooth ヘッドホンのデバイス名を確認する

- 1 **OPTION を押す。**
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 **カーソル 上/下を押して“Bluetooth ヘッドホン”を選び、ENTER を押す。**
- 3 **カーソル 上/下を押して Bluetooth ヘッドホンのデバイス名を確認する。**

Bluetooth ヘッドホンに再接続する

一度ペアリングが済んでいれば、次のいずれかの操作をすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに再接続できます。

- Bluetooth ヘッドホンの再接続機能を使用して、本機に再接続する。
- “出力モード”が“ヘッドホン + スピーカー”に設定されている場合、本機の電源をオンにすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに自動的に再接続します。
- 設定メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から接続したい機器名を選択する。(107 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを切断する

次のいずれかの操作をすると、Bluetooth ヘッドホンとの接続を切断できます。

- Bluetooth ヘッドホンの電源をオフにする。
- 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で“ヘッドホン”を“オフ”に設定する。(107 ページ)

HEOS アプリをダウンロードする

HEOS アプリから多くのオンライン音楽ストリーミングサービスを使用することができます。無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

App ストア、Google Play ストアまたは Amazon アプリストアで“HEOS”を検索して、iOS 用または Android 用の HEOS アプリをダウンロードしてください。



- HEOS アプリの仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

HEOS アプリに初めて HEOS 機能搭載機器をセットアップする

本機を設置して HEOS アプリをダウンロードしたら、ホームネットワークに接続するための設定をおこないます。本機をホームネットワークに接続するために、次の手順をおこなってください。



- 本機を無線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルを接続しないでください。本機を有線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブル(市販)を使用して、ルーターやハブに接続してください。

- 1 モバイル端末が無線 LAN(本機を接続するネットワーク)に接続されていることを確認してください。
iOS または Android 機器の“設定” - “Wi-Fi”で確認できます。



- モバイル端末の Bluetooth 設定をオンにしてください。
- 無線 LAN ネットワークがパスワードで保護されている場合は、パスワードを確認してください。

- 2 モバイル端末で HEOS アプリを起動する。



- 3 HEOS アプリが起動したら、画面上部の“今すぐセットアップ”をタップする。
- 4 画面の指示に従って、本機を無線 LAN ネットワークに追加する。

HEOS アプリに HEOS 機能搭載機器の登録を追加する

HEOS システムは、複数の HEOS 機能搭載機器間の音楽再生を自動的に同期できます。HEOS システムには、最大 32 台の HEOS 機能搭載機器を追加できます。また、最大 16 台の HEOS 機能搭載機器を 1 つのグループにすることで、1 台の HEOS 機能搭載機器のように機能させられます。

■ 有線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

LAN ケーブルを使用して、HEOS 機能搭載機器をホームネットワークに接続すると、HEOS アプリのルーム画面に、接続した HEOS 機能搭載機器が表示されます。有線 LAN の接続については、「ホームネットワーク (LAN) に接続する」(P.32 ページ)をご覧ください。

また、HEOS 機能搭載機器に任意の名前を割り当てると、どの部屋に設置した HEOS 機能搭載機器なのか分かりやすくなります。

■ 無線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

HEOS アプリの設定メニューから“デバイスの追加”を選び、画面の指示に従って操作してください。



HEOS アカウント

HEOS アカウントは、HEOS アプリの“ホーム”タブ - “設定”アイコン  をタップして登録してください。

HEOS アカウントを作成またはサインインすると、HEOS お気に入り機能を使用して、本機からお気に入りのストリーミングラジオ局をお気に入りリストに保存したり、リストから再生したりできます。

■ HEOS アカウントとは

HEOS アカウントは、1 つのユーザー名とパスワードですべての HEOS 音楽サービスを管理するマスターアカウントです。

■ HEOS アカウントが必要な理由

HEOS アカウントでログインすれば、例えば友人宅の HEOS システムで音楽を聞くとときでも、アカウント登録しているストリーミング音楽サービスや再生履歴、カスタムプレイリストにアクセスできます。

■ HEOS アカウントに登録する

HEOS アプリの“ホーム”メニューからはじめて音楽サービスにアクセスすると、HEOS アカウントへの登録をおすすめするメッセージと登録画面を表示します。HEOS アプリの案内に従って操作を完了してください。



- HEOS アカウントの設定情報は、本機と HEOS アプリで同期しています。アカウントの設定変更やサインアウトは HEOS アプリからおこなってください。

■ HEOS アカウントを変更する

- 1 “ホーム”タブをタップする。
- 2 画面右上の設定アイコン  をタップする。
- 3 画面右上の HEOS アカウント  アイコンをタップする。
- 4 位置情報の変更やパスワードの変更、アカウントの削除、サインアウトをおこなう。



- HEOS アプリでアカウント設定を変更したりサインアウトしたりすると、本機のアカウント設定も自動的に同期します。HEOS アカウントを切り替えるには、本機に同期したいアカウントで HEOS アプリにサインインしてから音楽を再生してください。“HEOS アカウント”が自動的に切り替わります。

ストリーミング音楽サービスを再生する

無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

ご注意

- HEOS アプリおよびブランドは、どちらのモバイルデバイスの製造元とも提携していません。音楽サービスの提供は地域によって異なります。製品購入時にすべてのサービスが利用できるわけではありません。音楽サービスプロバイダまたは第三者の決定に基づき、いくつかのサービスが追加または中止されることがあります。

■ 再生する部屋/HEOS 機器を選ぶ

- 1 “ルーム”タブをタップする。複数の HEOS 機能搭載機器がある場合は、“Marantz XXXXXXX”を選ぶ。



- 右上のメニューアイコン [...] をタップすると編集モードになり、表示名を変更することができます。

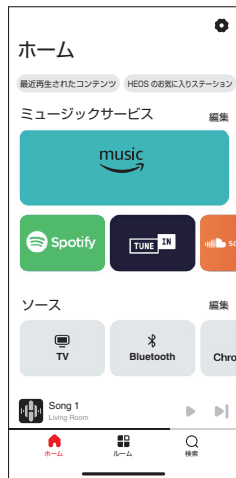


■ 音楽ソースから音楽や放送局を選ぶ

1 “ホーム”タブをタップし、音楽ソースを選ぶ。



- 画面に表示されている音楽サービスは、お住まいの地域により利用できない場合があります。



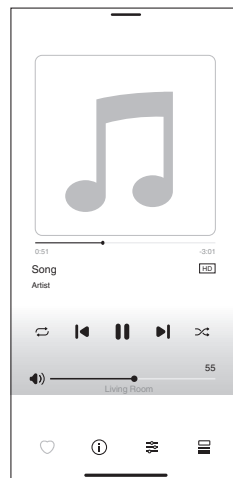
2 再生したい音楽を選ぶ。

音楽または放送局を選ぶと、自動的に“再生中”画面に切り替わります。

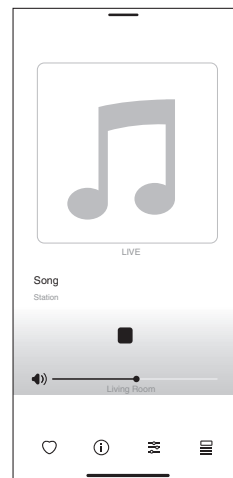


- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに HEOS アプリから再生操作をおこなうと、本機の電源は自動的にオンになります。([ネットワーク制御] 108 ページ))

音楽ファイル



ストリーミング



同じ音楽を複数の部屋で聴く

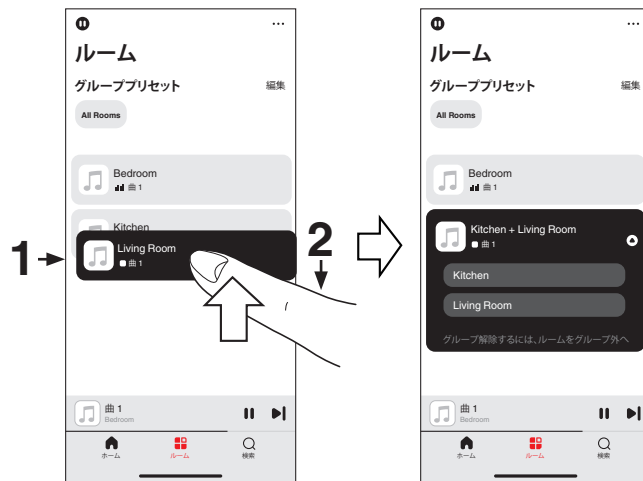
このシステムでは、複数の HEOS 機能搭載機器間で音楽再生を自動的に同期できます。これにより、さまざまな部屋で再生される音楽が完全に同期し、常に素晴らしいサウンドを得ることができます。このシステムでは最大 32 台の機器を簡単に追加できます。また最大 16 のグループ化が可能で、グループごとに完全に同期して楽曲を再生できます。

■ 部屋をグループ化する

- 1 音楽を再生していない部屋をホールド(指で押さえたままに)する。
- 2 そのまま音楽を再生している部屋までドラッグする。
2 つの部屋が 1 つのグループにグループ化され、両方の部屋で同じ音楽を再生します。



- “編集”の“グループプリセット”機能でもグループを管理できます。



■ 部屋のグループ化を解除する

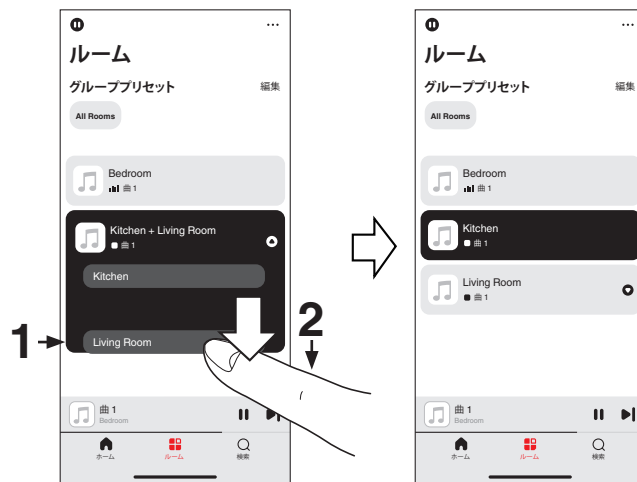
- 1 グループから外したい部屋をホールド(指で押さえたままに)する。
- 2 グループの外にドラッグして、指を離す。

ご注意

- グループ化は音楽を再生している部屋が基準となるため、その部屋をグループから解除できません。



- “編集”の“グループプリセット”機能でもグループを管理できます。



■ すべての部屋をグループ化する

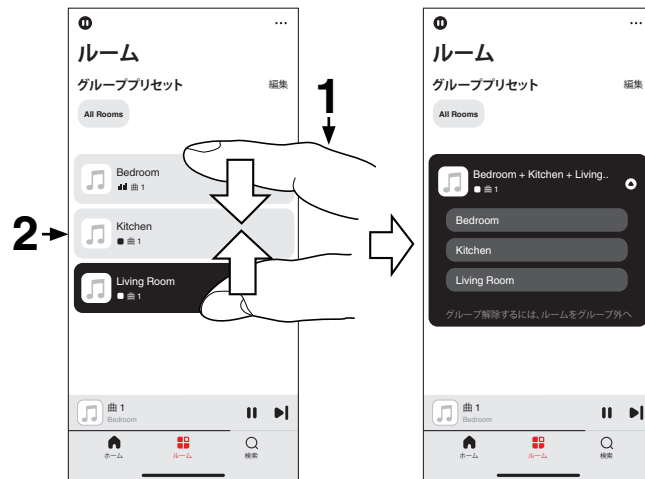
ピンチイン操作をおこなって、すべての部屋(最大 16 部屋)をグループ化できます。

1 部屋のリスト上の画面に2本の指を置く。

2 2本の指ですばやくつまむ動作をして、画面から離す。
すべての部屋がグループ化され、同じ音楽をすべての部屋で再生します。



- “編集”の“グループプリセット”機能でもグループを管理できます。



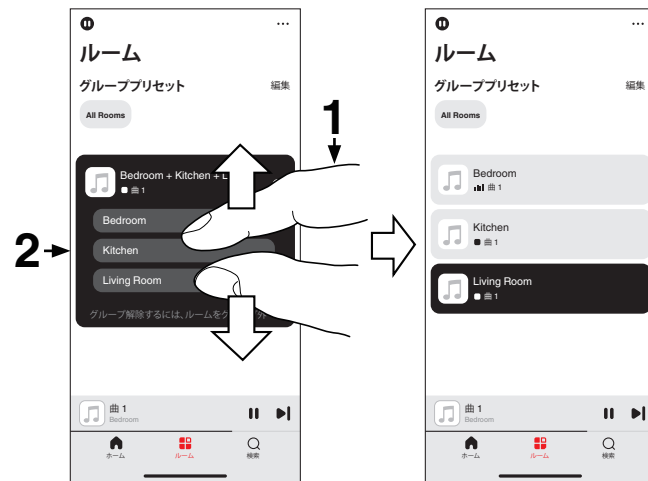
■ すべての部屋のグループ化を解除する

ピンチアウト操作をおこなって、すべての部屋のグループ化を解除できます。

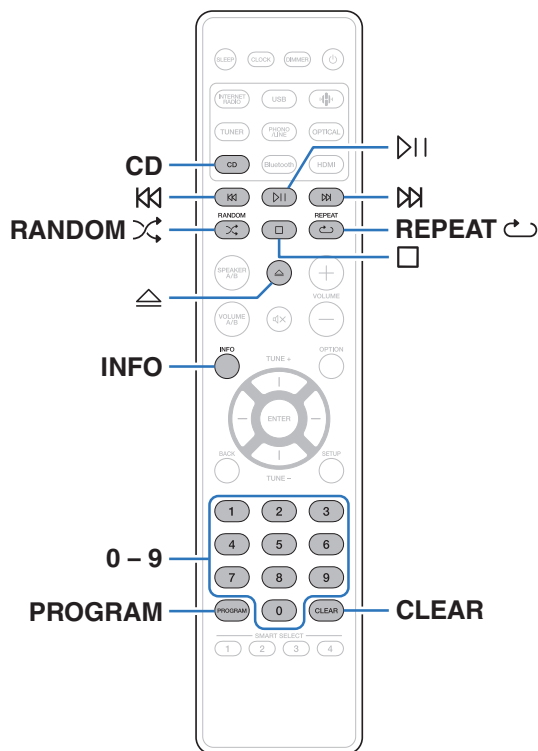
- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を近づけて置く。
- 2 2本の指をすばやく互いに遠ざけ、画面から離す。
すべての部屋のグループ化が解除されます。



- “編集”の“グループプリセット”機能でもグループを管理できます。



CDを再生する



CDを再生する

- 1 CDを押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
- 2 ディスクトレイにディスクを入れる。(P.144 ページ)
再生をします。
 - △を押すとディスクトレイが開閉します。



- 本体の △ を押しても、ディスクトレイを開閉できます。
- CD を自動再生するかしないかを設定できます。(P.104 ページ)

ご注意

- ディスクトレイにはディスク以外の物を入れないでください。故障の原因になります。
- 電源がスタンバイの状態、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

操作ボタン	機能
⏮	再生/一時停止
⏸	停止
⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
0~9	曲の選択
RANDOM 🔀	ランダム再生
REPEAT 🔁	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
INFO	時間表示切り替え • 再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。

■ 好きな曲を聴く(ダイレクト選曲)

1 0~9 を押して、曲を選ぶ。

【例】

4 曲目: 数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目: 数字ボタンの 1 と 2 を続けて押す。

- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

お好みの順序で再生する(プログラム再生)

最大 25 曲までプログラム再生ができます。

1 停止中に PROGRAM を押す。

ディスプレイに“Program”を表示します。

2 0～9 を押して、曲を選ぶ。

【例】

4 曲目: 数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目: 数字ボタンの 1 と 2 を続けて押す。

- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

3 ▶ を押す。

プログラムした曲順に再生をはじめます。



- プログラム再生中に RANDOM  を押すと、ランダム再生モードになります。ランダム再生モードで ▶ を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中に REPEAT  を押すと、プログラムした曲順でくり返し再生します。

ご注意

- ディスクトレイを開いたり電源を切ったりすると、プログラム再生を解除します。

■ プログラムした曲順を確認する

停止中に  を押す。

 を押すたびに、プログラムした曲順でトラック番号を表示します。

■ プログラムした曲を取り消す

停止中に CLEAR を押す。

CLEAR を押すたびに、最後にプログラムした曲から順に取り消します。

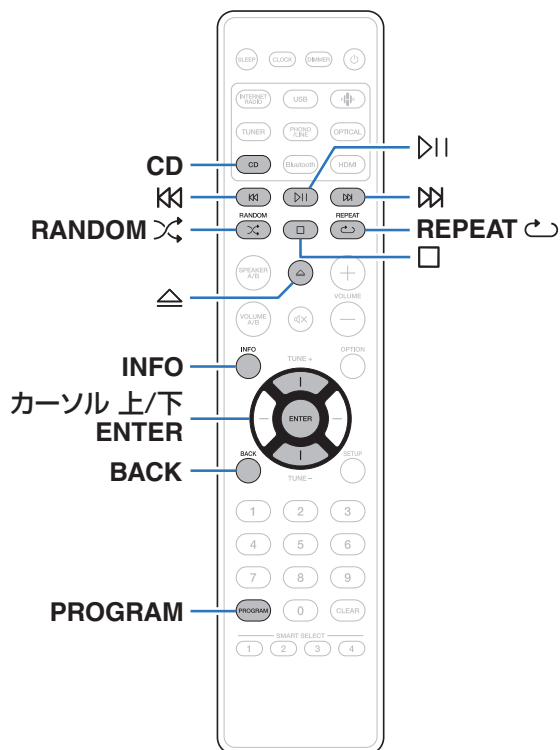


-  を押して、取り消したい曲を選択することもできます。

■ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中に PROGRAM を押す。

データ CD を再生する



- ここでは、CD-R および CD-RW に記録している音楽ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。それらのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「再生できるファイルの仕様」(P.140 ページ)をご覧ください。
 - MP3
 - WMA

ご注意

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 CD を押して、入力ソースを“CD”に切り替える。

2 音楽ファイルを記録してある CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。(144 ページ)

再生をはじめます。

- △ を押すとディスクトレイが開閉します。



- 本体の △ を押しても、ディスクトレイを開閉できます。
- CD を自動再生するかしないかを設定できます。(104 ページ)

操作ボタン	機能
⏮	再生/一時停止
⏹	停止
⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
⏮	1 つ上の階層に移動
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
PROGRAM	曲の再生範囲の選択
INFO	タイトル名/アーティスト名およびアルバム名の表示切り替え



- CD-R/CD-RW 再生中に別のファイルを再生する場合は、まず BACK を押して階層表示をおこなってください。次にカーソル 上/下を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押してください。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- タイトル名/アーティスト名およびアルバム名の表示切り替え
- テキスト情報に対応しないファイルや曲名が記録されていないファイルの場合、ファイル名を表示します。
- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.(ピリオド)”に置き換えて表示します。

■ 再生できるファイルについて

- 「再生できるファイルの仕様」(P.140 ページ)をご覧ください。

■ 再生範囲を切り替える

PROGRAM を押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

フォルダ再生モード:	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。このとき、ディスプレイに  を表示します。
全曲再生モード:	ディスク内のすべての曲を再生します。

FM 放送または AM 放送を聴く

アンテナの接続については、「FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続する」(P.30 ページ))をご覧ください。

FM 放送または AM 放送を聴く

1 TUNER を押して、受信バンドを選ぶ。

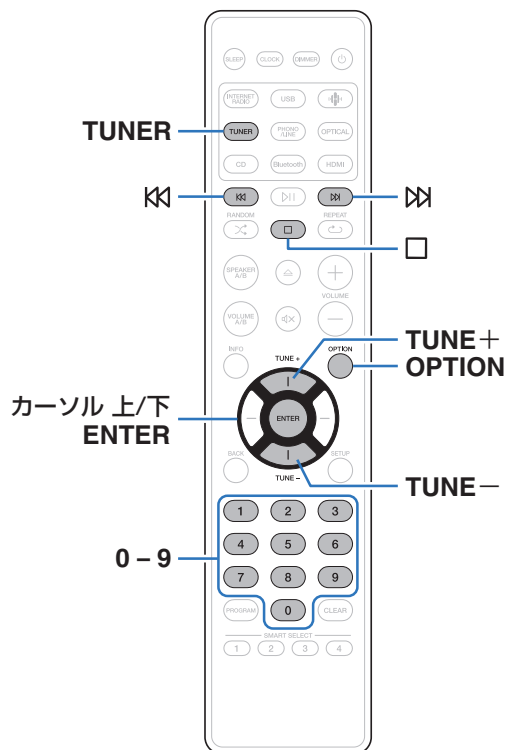
FM: FM 放送を聴くときに選択します。

AM: AM 放送を聴くときに選択します。

2 TUNE + または TUNE - を押して、聴きたい放送局を選ぶ。

受信すると、 表示が点灯します。

ステレオ放送を受信した場合、ST インジケーターが点灯します。



受信モードを変更する(チューニングモード)

受信モードを変更します。“オート”モード(AUTO)で自動的に放送局を受信できないときは、“マニュアル”モード(表示無し)に変更し、手動で放送局を受信してください。

- 1 FM/AM 放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“チューニングモード”を選び **ENTER** を押す。
- 3 カーソル 上/下を押してお好みの設定を選び、**ENTER** を押す。

オート(AUTO):	自動的に受信できる放送局を探して受信するモードです。
マニュアル (表示無し):	ボタン操作で 1 ステップずつ周波数を切り替えて受信するモードです。

FM/AM 放送局をプリセットする

プリセットリストに最大 50 局の放送局を登録できます。

- 1 登録したい放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“プリセットメモリー”を選び、**ENTER** を押す。
- 3 カーソル 上/下を押してプリセットリストに登録したい番号を選び、**ENTER** を押す。
“追加しました”を表示し、登録を完了します。

FM 放送局を自動的にプリセットする (オートプリセット)

受信できるすべての FM 放送局を自動的にプリセットリストに登録できます。登録できる放送局数は最大 50 局です。

- 1 FM 放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“オートプリセットメモリー”を選び、**ENTER** を押す。
- 3 カーソル 上/下を押して“開始する”を選び、**ENTER** を押す。

自動で放送局を受信し、プリセットをはじめます。

- プリセットが完了すると“設定を完了しました”を表示します。



- オートチューニングを停止するときは **□** を押してください。
- アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。
- プリセットリストの登録局数が 50 局になると、追加登録ができません。
- AM 放送局はオートプリセットできません。

プリセットリストに登録した放送局を聴く

- 1 放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“プリセットリスト”を選び、**ENTER** を押す。
- 3 カーソル 上/下を押して聴きたい放送局を選び、**ENTER** を押す。
- 4 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”を選び、**ENTER** を押す。

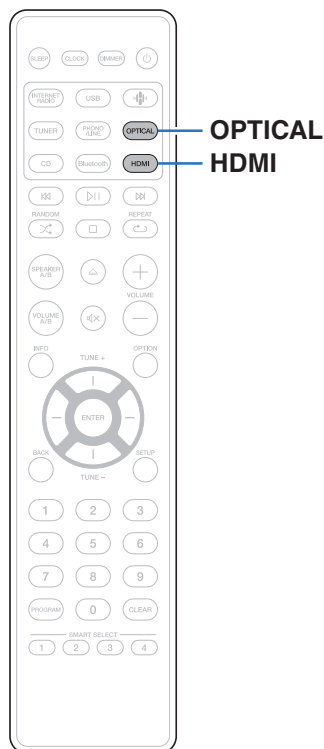


- 0~9 を使用して、プリセットリストから聴きたい放送局を選択することもできます。
- **XXXX** を押して、プリセット登録した放送局を切り替えることができます。

プリセットリストから放送局を削除する

- 1 放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“プリセットリスト”を選び、**ENTER** を押す。
- 3 カーソル 上/下を押して削除したい放送局を選び、**ENTER** を押す。
- 4 カーソル 上/下を押して“プリセットリストから削除”を選び、**ENTER** を押す。
“削除しました”を表示し、削除を完了します。

デジタル入力を再生する



- 1 再生の準備をする。**
正しく接続されていることを確認して、本機の電源を入れてください。「デジタル機器を接続する」(P.27 ページ))
- 2 HDMI または OPTICAL を押して入力ソースを“HDMI”または“Optical”に切り替える。**
- 3 本機に接続した機器を再生する。**
 - サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し”を表示します。
 - 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。

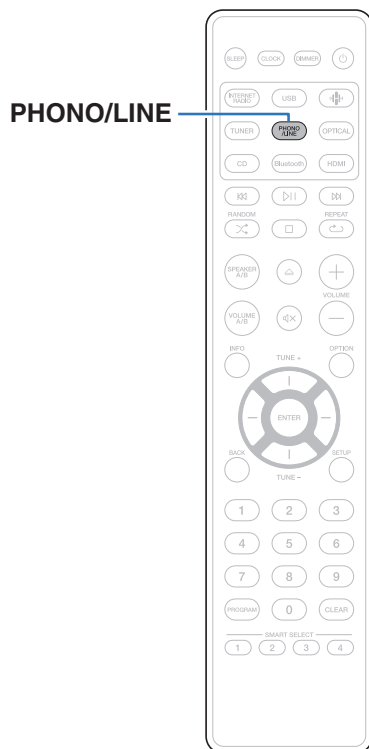


- 設定メニューの“テレビ入力”の設定をおこなうと、本機に接続したテレビの電源オン操作に連動して自動的に本機の電源をオンにし、入力ソースを“HDMI”または“Optical”に切り替えます。(P.100 ページ)

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.146 ページ)をご覧ください。

アナログ入力を再生する



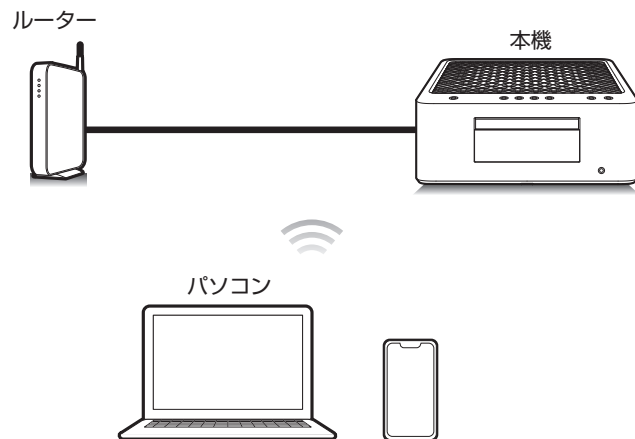
- 1 再生の準備をする。
正しく接続されていることを確認して、本機の電源を入れてください。([アナログ機器を接続する](P.28 ページ))
- 2 PHONO/LINE を押して、入力ソースを“Phono”または“Line”に切り替える。
 - PHONO/LINE を押すたびに、入力ソースが“Phono”または“Line”に切り替わります。
- 3 本機に接続した機器を再生する。

AirPlay 機能

iPhone、iPod touch、iPad、Mac や Windows パソコンに保存されている音楽ファイルをネットワークを経由して本機で再生できます。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に “AirPlay” に切り替わります。
- 他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

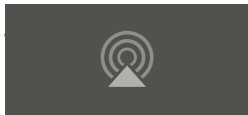


iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad、Mac の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

- 1 iPhone、iPod touch、iPad または Mac を本機と同じネットワークに Wi-Fi 接続する。
 - 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 Apple Music を開いて iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を再生する。
- 3 AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選ぶ。

【例】iOS 15 または macOS 13



【例】iOS 10



- 他のアプリの曲を AirPlay でストリーミングすることもできます。コントロールセンターを開き AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選んでください。
- AirPlay を使用するには、iOS 10.0.2 以降または OS X Mountain Lion 10.8 以降が必要です。

Windows パソコンの曲を本機で再生する

- 1 本機と同じネットワークに接続している Windows パソコンに、iTunes 10 以降をインストールする。
- 2 iTunes を起動し、AirPlay アイコンをクリックして、本機を選ぶ。

【例】iTunes



- 3 iTunes で曲を選び、再生する。
本機で再生をはじめます。



- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、iTunes の操作で本機の電源をオンにできます。(108 ページ)
- iTunes の使用方法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。

Spotify Connect 機能

Spotify にはあなたが聴きたい音楽があります。何千万もの楽曲の中からあなたの好みに合ったお奨めの音楽をお楽しみいただけます。従来のプレミアムアカウント(有料)に加え、無料アカウントでも Spotify Connect をご利用になれます。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを操作して、Spotify の音楽を楽しめます。

詳しくは、www.spotify.com/jp/connect をご覧ください。

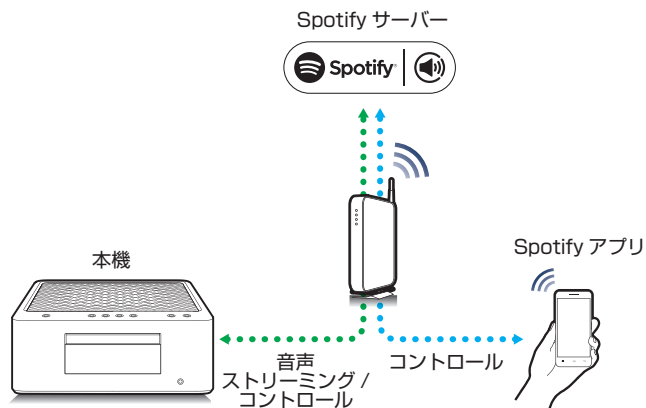
Spotify ソフトウェアには次のサードパーティのライセンスが適用されます。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses

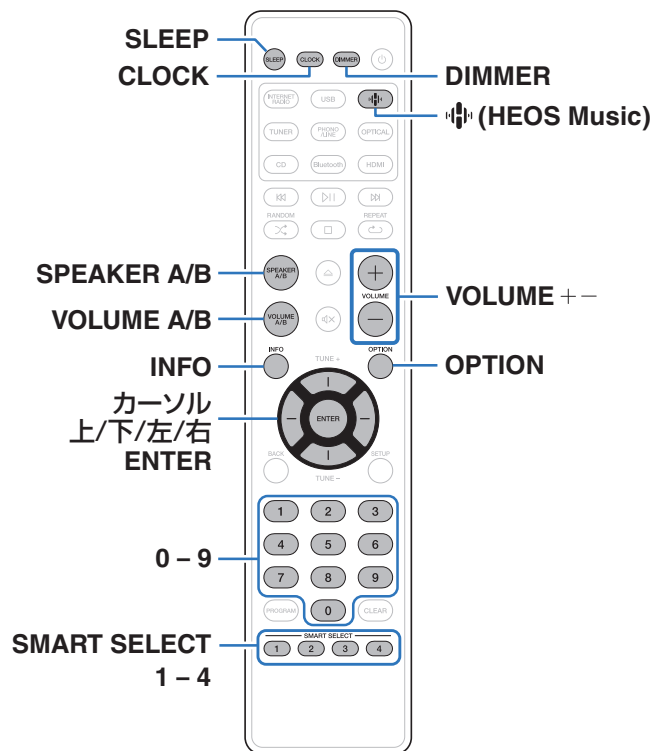
Spotify の曲を本機で再生する

あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に “Spotify アプリ” をダウンロードしてください。

- 1 iOS または Android 機器の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。
- 2 Spotify アプリを起動する。
- 3 Spotify の曲を再生する。
- 4 Spotify アイコン  をタップして、本機を選ぶ。
本機で再生をはじめます。



便利な機能



- ここでは、各入力ソースで使用できる便利な機能の操作方法を説明します。
- “HEOS お気に入り”に関する操作は、アプリを使用するとより便利におこなえます。アプリの入手方法については、「HEOS アプリをダウンロードする」(P.54 ページ)をご覧ください。

HEOS お気に入り再生する

本機で初めて HEOS お気に入り機能を使用する場合は、HEOS アプリで HEOS アカウントを作成するか、作成済みのアカウントにサインインしてください。HEOS アカウントを作成またはサインインすると、本機でお気に入りのストリーミングラジオ局を保存したり呼び出したりできる HEOS お気に入り機能を使用できます。

1 (HEOS Music) を押す。

再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。

2 カーソル 上/下を押して“Favorites”を選び、ENTER を押す。

3 カーソル 上/下を押して再生したいコンテンツを選び、ENTER を押す。

4 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”を選び、ENTER を押す。



- 0～9 を使用して、HEOS お気に入りから再生したいコンテンツを選択することもできます。
- 本機が HEOS アプリの HEOS アカウントと同期していない場合、HEOS Music のトップメニューから Favorites を選べなくなります。

HEOS お気に入りに追加する

この機能はストリーミング配信のコンテンツにのみはたります。

1 コンテンツの再生中に OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

2 カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入りに追加”を選び、ENTER を押す。

3 カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入り”に登録したい番号を選び、ENTER を押す。

HEOS お気に入り进行削除する

- 1  (HEOS Music) を押す。
再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“Favorites”を選び、ENTER を押す。
- 3 HEOS お気に入りリスト表示中にカーソル 上/下を押して、HEOS お気に入りリストから削除したい項目を選び、ENTER を押す。
- 4 カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入りから削除”を選び、ENTER を押す。

音質および音量バランスを調節する

■ 音質を調節する

- 1 **OPTION** を押す。
ディスプレイにオプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“DBB/Tone”を選び、ENTER を押す。
“DBB/Tone”設定画面を表示します。
- 3 カーソル 上/下を押して“Dynamic Bass Boost”、“低音”または“高音”を選び、ENTER を押す。
- 4 カーソル 上/下を押して選択した項目を設定し、ENTER を押す。



- “サウンドモード”の設定が“ダイレクト”のとき、音質調節機能は設定できません。(p.83 ページ)

□ Dynamic Bass Boost

オン:	音量に応じて、低音域を強調します(最大+8dB)。
オフ (お買い上げ時の設定):	DBB(Dynamic Bass Boost)機能を使用しません。

□ 低音

低音を調節します。

-10dB～+10dB(お買い上げ時の設定:0dB)

□ 高音

高音を調節します。

-10dB～+10dB(お買い上げ時の設定:0dB)

■ バランスを調節する

- 1 **OPTION** を押す。
ディスプレイにオプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“**バランス**”を選び、**ENTER**を押す。
“バランス”調節画面を表示します。
- 3 カーソル 左/右を押して音量バランスを調節し、**ENTER**を押す。



- “サウンドモード”の設定が“ダイレクト”のとき、音量バランスは調節できません。(P.83 ページ)

サウンドモードを選ぶ

- 1 **OPTION を押す。**
ディスプレイにオプションメニュー画面を表示します。
- 2 **カーソル 上/下を押して“サウンドモード”を選び、ENTER を押す。**
“サウンドモード”設定画面を表示します。
- 3 **カーソル 上/下を押してサウンドモードを選び、ENTER を押す。**

ダイレクト:	音源に記録された音声をそのまま再生するモードです。
ステレオ (お買い上げ時の設定):	サラウンド処理をおこなわずに 2 チャンネルステレオ音声を再生するモードです。
バーチャル:	サラウンド処理をおこなうことで、2 チャンネルのスピーカーでも臨場感のあるサラウンドサウンドをお楽しみいただける再生モードです。

Dirac Live フィルターを選択する (Dirac Live)

Dirac Live software から転送した Dirac Live フィルターを設定します。

Dirac Live Room Correction を実行した後に設定できるようになります。

詳しくは、別冊の Dirac Live 取扱説明書をご覧ください。

https://manuals.marantz.com/DiracLiveRC_Sys1/ALL/JA/

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを 5 段階で調節できます。

1 DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、輝度を落として一時的に情報を表示します。
- お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。
- 設定メニューの“ステータス表示 LED”を“ディスプレイの明るさと同期”に設定している場合、ステータス表示 LED の明るさもディスプレイの明るさに連動して切り替わります。(P.104 ページ)

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにします。音楽などを聴きながらおやすみになるときに便利です。

1 再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。

- ディスプレイの  表示が点灯します。
- 設定時間は 10 分間隔で最大 90 分まで選択できます。
- 約 5 秒後に設定が確定され、元の表示に戻ります。

■ スリープタイマーを解除する

1 SLEEP を押して “Sleep ► オフ” を選ぶ。

ディスプレイの  表示が消灯します。



- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーを設定した状態で SLEEP を押すと、スリープタイマーが動作するまでの残り時間を表示します。

現在の時刻を確認する

あらかじめ設定メニューの“時計”で現在時刻の設定をおこなってください。(P.103 ページ)

■ 電源オンのときに現在の時刻を確認する

CLOCK を押す。

- もう一度 CLOCK を押すと通常の表示に戻ります。

■ 電源がスタンバイ状態のときに現在の時刻を確認する

CLOCK を押す。

- 現在の時刻を約 30 秒間表示します。



- 電源がスタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。
- スタンバイ状態で時計が表示されている時に INFO ボタンを押すと一時的にアラームの設定を表示します。あらかじめアラームを設定していない場合はアラーム表示しません。

スマートセレクト機能

入力ソース、音量レベルおよびオーディオ関連の設定などを SMART SELECT 1～4 ボタンに登録できます。

設定を登録した SMART SELECT ボタンを押すだけで、登録したさまざまな設定を一度に切り替えることができます。

よく使う設定を SMART SELECT 1～4 ボタンに登録しておく、常に同じ再生環境を簡単に呼び出してお楽しみいただくことができます。

■ 設定を呼び出す

1 SMART SELECT を押す。

押したボタンに記憶している設定内容を読み出します。

- お買い上げ時の入力ソースの設定は、次のとおりです。

ボタン	入力ソース
SMART SELECT 1	インターネットラジオ
SMART SELECT 2	チューナー
SMART SELECT 3	Bluetooth
SMART SELECT 4	HDMI



- お買い上げ時の設定では、入力ソース以外の項目はスマートセレクト機能で登録されていません。
スマートセレクト機能で登録するには、「設定を変更する」を参照してください。(P.85 ページ)

■ 設定を変更する

1 次の内容を登録したい設定にする。

- ① 入力ソース (P.38 ページ)
- ② 音量 (P.38 ページ)
- ③ Dynamic Bass Boost (DBB) (P.81 ページ)
- ④ 音質 (低音/高音) (P.81 ページ)
- ⑤ サウンドモード (P.83 ページ)
- ⑥ サブウーハー (オン/オフおよびレベル) (P.99 ページ)
- ⑦ Dirac Live フィルター (P.83 ページ)



- 次の入力ソースで、ラジオの受信中に SMART SELECT を長押しすると、受信中のラジオ局を記憶します。
 - チューナー/インターネットラジオ局/Spotify

2 変更したい SMART SELECT を 3 秒以上長押しする。

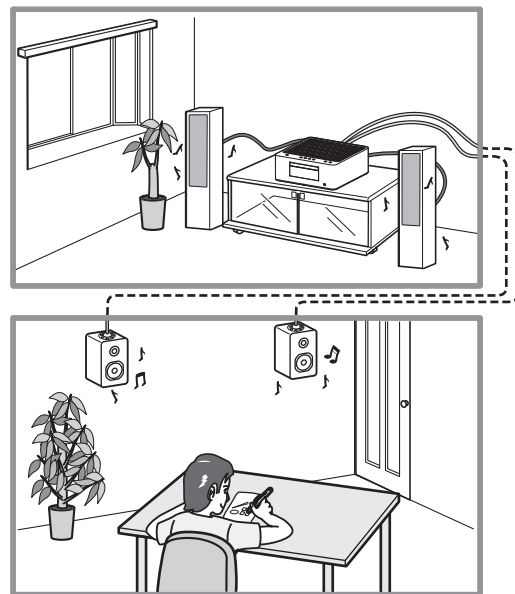
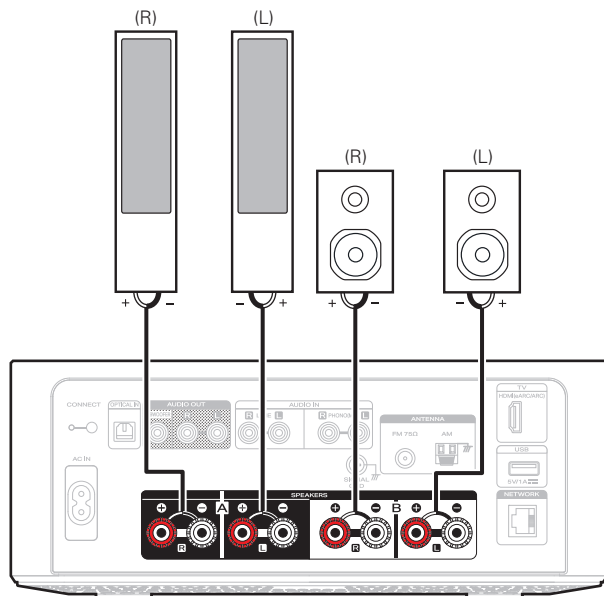
“保存しました”を表示し、現在の設定を登録します。

マルチドライブ接続をして2つの部屋で音楽を聴く

本機と2組のスピーカーシステムを使用し、別室で音楽を聴くことができます。

■ スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+(赤)、-(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。



■ 音声出力先のスピーカーを選択する

スピーカー A または B から音声を出力するか、スピーカー A と B の両方から音声を出力するかを設定します。

1 SPEAKER A/B を押す。

現在の設定を表示します。

2 SPEAKER A/B をくり返し押してお好みの設定を選ぶ。

- SPEAKER A/B を押すたびに、次の設定に切り替わります。

スピーカー A が有効になりました：
スピーカー A からのみ音声を出力します。

スピーカー B が有効になりました：
スピーカー B からのみ音声を出力します。

スピーカー A と B とが有効になりました：
スピーカー A と B の両方から音声を出力します。



- マルチドライブ接続をおこなう場合は、設定メニューの“スピーカー” - “アンプモード”を“標準 (A、B または A+B)”に設定してください。
(98 ページ)

■ スピーカーを指定して音量を調節する

2 組のスピーカー(スピーカー A/B)を接続している場合、スピーカー A または B どちらかのスピーカーを指定して音量を調節することができます。

1 VOLUME A/B を押す。

本機のディスプレイに、音量調節するスピーカーを表示します。

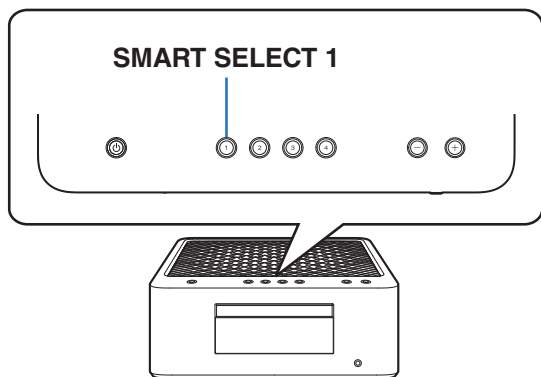
2 VOLUME + を押して、音量を調節する。



- 音声出力するスピーカーの設定を“スピーカー A と B とが有効になりました”にしているときのみ有効です。

フロント/トップパネルロック機能

本機を誤って操作してしまうことを防ぐために、フロントおよびトップパネルのボタン操作を無効にできます。



■ すべてのボタン操作を無効にする

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 SMART SELECT 1 を押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
- 3 ディスプレイに“Panel/Remote Lock”メニューが表示されたら、ボタンから指を離す。
- 4 カーソル 上/下を押して“Panel Lock”を選び、ENTER を押す。
- 5 カーソル 上/下を押して“Panel/Volume”を選び、ENTER を押す。
- 6 カーソル 上/下を押して“Exit”を選び、ENTER を押す。
○ 以外のボタン操作が無効になります。

■ VOLUME +- 以外のすべてのボタン操作を無効にする

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
 - 2 SMART SELECT 1 を押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
 - 3 ディスプレイに“Panel/Remote Lock”メニューが表示されたら、ボタンから指を離す。
 - 4 カーソル 上/下を押して“Panel Lock”を選び、ENTER を押す。
 - 5 カーソル 上/下を押して“Panel”を選び、ENTER を押す。
 - 6 カーソル 上/下を押して“Exit”を選び、ENTER を押す。
- ⓘ および VOLUME +- 以外のボタン操作が無効になります。

■ フロント/トップパネルロック機能を解除する

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
 - 2 SMART SELECT 1 を押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
 - 3 ディスプレイに“Panel/Remote Lock”メニューが表示されたら、ボタンから指を離す。
 - 4 カーソル 上/下を押して“Panel Lock”を選び、ENTER を押す。
 - 5 カーソル 上/下を押して“Off”を選び、ENTER を押す。
 - 6 カーソル 上/下を押して“Exit”を選び、ENTER を押す。
- フロント/トップパネルロック機能を解除します。

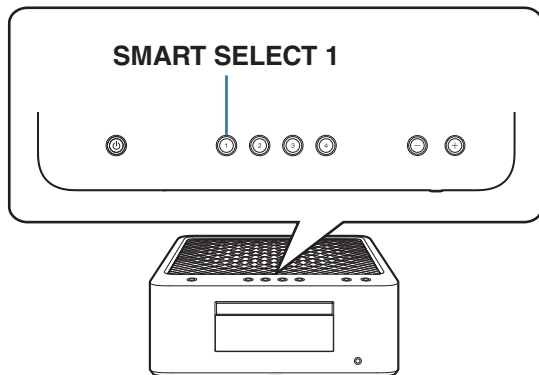


- フロント/トップパネルロック機能機能の設定が有効でも、リモコンによる操作は可能です。

リモートロック機能

リモートロック機能を有効に設定すると、リモコンの操作ができなくなります。

お買い上げ時は無効に設定されています。



■ リモコンの受信機能を無効にする

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 SMART SELECT 1 を押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
- 3 ディスプレイに“Panel/Remote Lock”メニューが表示されたら、ボタンから指を離す。
- 4 カーソル 上/下を押して“Remote Lock”を選び、ENTER を押す。
- 5 カーソル 上/下を押して“On”を選び、ENTER を押す。
- 6 カーソル 上/下を押して“Exit”を選び、ENTER を押す。

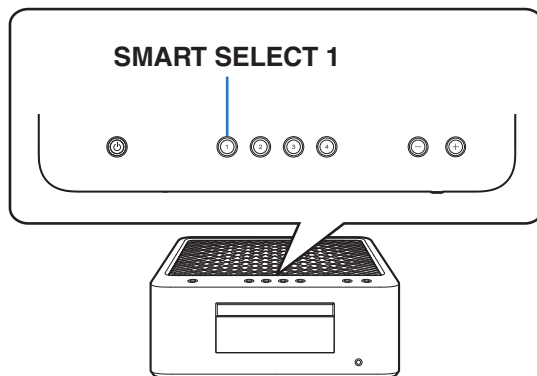
リモコン信号の受信機能が無効になります。

■ リモコンの受信機能を有効にする

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
 - 2 SMART SELECT 1 を押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
 - 3 ディスプレイに“Panel/Remote Lock”メニューが表示されたら、ボタンから指を離す。
 - 4 カーソル 上/下を押して“Remote Lock”を選び、ENTER を押す。
 - 5 カーソル 上/下を押して“Off”を選び、ENTER を押す。
 - 6 カーソル 上/下を押して“Exit”を選び、ENTER を押す。
- リモコン信号の受信機能が有効になります。

トレイロック機能

ディスクトレイが開かないようにするため、ディスクトレイ開閉ボタン(△)の操作を無効にできます。



■ ディスクトレイ開閉ボタン(△)の操作を無効にする

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 SMART SELECT 1 を押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
- 3 ディスプレイに“Panel/Remote Lock”メニューが表示されたら、ボタンから指を離す。
- 4 カーソル 上/下を押して“Tray Lock”を選び、ENTERを押す。
- 5 カーソル 上/下を押して“On”を選び、ENTERを押す。
- 6 カーソル 上/下を押して“Exit”を選び、ENTERを押す。
ディスクトレイ開閉ボタン(△)の操作を無効にします。

■ トレイロック機能を解除する

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 SMART SELECT 1 を押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
- 3 ディスプレイに“Panel/Remote Lock”メニューが表示されたら、ボタンから指を離す。
- 4 カーソル 上/下を押して“Tray Lock”を選び、ENTERを押す。
- 5 カーソル 上/下を押して“Off”を選び、ENTERを押す。
- 6 カーソル 上/下を押して“Exit”を選び、ENTERを押す。
トレイロック機能を解除します。

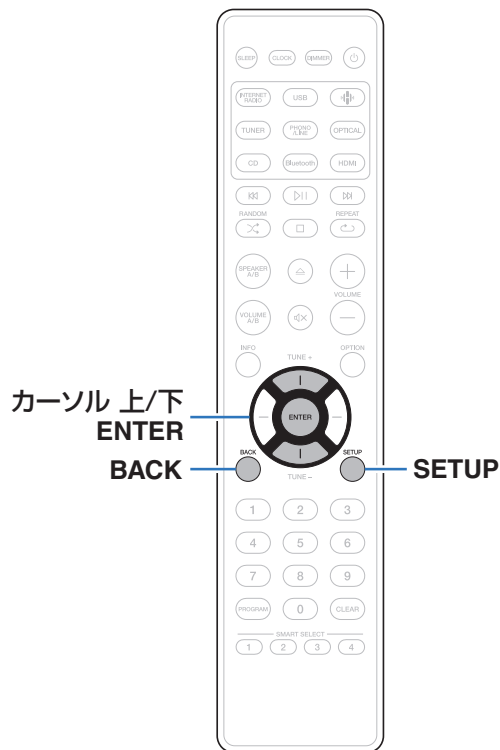
設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。
お買い上げ時の設定はおすすめの設定にしています。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズできます。

設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
オーディオ	音量の上限	音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。	96
	Dirac Live フィルター	Dirac Live フィルターを選択します。	96
	HP アンプゲイン	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。ご使用のヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定することで、ヘッドホン再生を適切な音量でお楽しみいただけます。	96
	オーディオ出力	アナログ音声出力の音量を“固定出力”にするか、“可変出力”にするかを設定します。	97
スピーカー	アンプモード	スピーカーの接続方式に合わせて、スピーカー出力の設定をします。	98
	レスポンス	スピーカー出力の周波数特性を切り替えます。	98
	サブウーハー	サブウーハー出力の有効/無効やサブウーハー音量、およびクロスオーバー周波数を設定します。	99
	Dirac Live セットアップ	Dirac Live Room Calibration の操作手順を HEOS アプリで確認できることがディスプレイに表示されます。	99
テレビ	テレビ入力	テレビの音声を本機で再生するときに設定します。	100
	HDMI パワーオフコントロール	テレビの電源オフ操作に連動して本機の電源がスタンバイになる、“HDMI パワーオフコントロール”機能の設定をします。	101

設定項目	詳細項目	内容/詳細項目	参照ページ
一般	アラーム	アラーム再生を設定します。	102
	時計	現在の時刻を設定します。	103
	時計モード	スタンバイ時に時刻を表示する、時計モードの設定をします。	104
	CD の自動再生	ディスク挿入時に自動再生をおこなうかを設定します。	104
	ステータス表示 LED	ステータス表示 LED の明るさを調節します。	104
	言語	ディスプレイに表示する言語を設定します。	104
	オートスタンバイ	未使用時、本機の電源を自動的にスタンバイにします。	105
	ファームウェア	現在のファームウェアバージョンを表示します。	105
	リセット	各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。	105
ネットワーク	ネットワーク情報	ネットワークの各種情報を表示します。	106
	Wi-Fi	Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。	106
	Bluetooth	Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。また、Bluetooth 送信の設定をします。	107
	ネットワーク制御	スタンバイ時のネットワーク機能のオン/オフを設定します。	108
	AirPlay 設定	本機を WAC モードにします。iOS 機器を使用してネットワークに接続する際に設定します。	108



設定メニューの操作のしかた

- 1 **SETUP** を押す。
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して設定または操作したい設定メニューを選び、**ENTER** を押す。
- 3 カーソル 上/下を押してお好みの設定に変更する。
- 4 **ENTER** を押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、**BACK** を押してください。
 - 設定メニューを終了するときには、設定メニュー表示中に **SETUP** を押してください。通常表示に戻ります。

オーディオ

音声に関する設定をします。

音量の上限

音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。

オフ
(お買い上げ時の設定): 音量の上限を設定しません。(100)

20 ~ 95

Dirac Live フィルター

Dirac Live を設定します。Dirac Live Room Correction を実行した後に設定できるようになります。詳しくは、Dirac Live の取扱説明書をご覧ください。

https://manuals.marantz.com/DiracLiveRC_Sys1/ALL/JA/



- Dirac Live を使用するには、Dirac Live ライセンスを購入する必要があります。(P.99 ページ)

HP アンプゲイン

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“低”側に、高い場合は“高”側に設定することをおすすめします。

高:	ヘッドホンアンプのゲインを“高”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が小さいと感じる場合に設定してください。
中 (お買い上げ時の設定):	ヘッドホンアンプのゲインを“中”に設定します。
低:	ヘッドホンアンプのゲインを“低”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が大きいと感じる場合に設定してください。

ご注意

- HP アンプゲインの設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げるか消音にしておこなってください。

オーディオ出力

アナログ音声出力の音量を“固定出力”にするか、“可変出力”にするかを設定します。

固定出力:	アナログ音声出力の音量を固定にします。
可変出力 (お買い上げ時の設定):	VOLUME + - ボタンを押して、アナログ音声出力の音量調節ができます。 アナログ音声出力の音量は、スピーカー A の音量に連動します。



- “可変出力”設定時、アナログ音声出力の音量はスピーカー A の音量に連動します。スピーカー B の音量を調節しても、アナログ音声出力の音量は調節できません。(P.87 ページ)
- 音声出力先のスピーカーを“スピーカー B が有効になりました”に設定した場合、本機はアナログ音声出力しません。(P.87 ページ)

ご注意

- アナログ音声出力の設定を“可変出力”から“固定出力”に変更すると、音量は最大になりますのでご注意ください。
- 設定変更時は、アナログ音声出力端子に接続しているパワードスピーカーの音量や本機のヘッドホン音量を最小にしてください。

スピーカー

本機に接続したスピーカーやサブウーハーに合わせて、最適な設定をおこないます。

アンプモード

本機はスピーカー出力端子を 4ch(SPEAKERS A(L/R)、SPEAKERS B(L/R))搭載しており、最大 2 組のスピーカーとの組み合わせにより、多様な再生方式に対応しています。あらかじめ好みの再生方式に合わせてスピーカーを接続し、設定してください。

標準 (A、B または A+B) (お買い上げ時の設定):	SPEAKERS A 端子または SPEAKERS B 端子のいずれかにスピーカーを接続した場合、および SPEAKERS A 端子、SPEAKERS B 端子の両方に 2 組のスピーカーをマルチドライブ接続した場合に設定します。(「標準 (A、B または A+B) 接続 (BTL 接続)」(P.22 ページ)、「マルチドライブ接続をして 2 つの部屋で音楽を聴く」(P.86 ページ))
パラレル BTL:	本機に内蔵された 4ch アンプすべてで 1 組のスピーカーを駆動し、制動力のある音質を実現するパラレル BTL 機能を有効にします。SPEAKERS A 端子にスピーカーを接続した場合に設定します (P.23 ページ) “パラレル BTL”に設定した場合は、SPEAKERS B 端子にスピーカーを接続しないでください。
バイアンプ:	バイアンプ機能を有効にします。バイアンプ接続をおこなった場合に設定してください。(P.24 ページ)

レスポンス

スピーカー出力の周波数特性を切り替えます。お好みに合わせて設定してください。

フラット (お買い上げ時の設定):	フラットな特性です。
レスポンス 1:	40Hz 以下を-12dB/oct で低域をカットします。
レスポンス 2:	60Hz 以下を-12dB/oct で低域をカットします。
レスポンス 3:	80Hz 以下を-12dB/oct で低域をカットします。
レスポンス 4:	100Hz 以下を-12dB/oct で低域をカットします。



- “スピーカー” - “アンプモード”の設定が“標準 (A、B または A+B)”の場合は、SPEAKERS A/B 端子のそれぞれに個別の設定をおこなえます。
- “レスポンス”の設定は、ヘッドホン出力やオーディオ出力、サブウーハー出力には反映されません。
- “サブウーハー”を“オン”に設定している場合は、“レスポンス”設定ははたらきません。(P.99 ページ)

サブウーハー

■ サブウーハー

サブウーハーの有無に応じて設定します。

オン: サブウーハー出力を有効にします。

オフ
(お買い上げ時の設定): サブウーハー出力を無効にします。



- Dirac Live フィルターを設定した状態でオン/オフを切り替えると、設定した Dirac Live フィルターが無効になります。

■ レベル

サブウーハーの音量を調節します。

-12.0dB～+12.0dB(お買い上げ時の設定:0.0dB)

■ クロスオーバー

スピーカーで再生可能な低音域の下限周波数に合わせて設定します。スピーカーのクロスオーバー周波数については、スピーカーの取扱説明書をご覧ください。

30Hz～250Hz(お買い上げ時の設定:80Hz)

Dirac Live セットアップ

Dirac Live は、スピーカーの能力を最大限に引き出す機能です。Dirac Live では研究に基づいた音響処理アルゴリズムを使用して部屋を分析して音質への影響を軽減し、他の方法では難しいスピーカーのパフォーマンスを実現します。

Dirac Live を実行する前に Dirac Live アカウントを作成し、ライセンスを購入する必要があります。

以下の Web サイトでアカウントを作成し、ライセンスを購入してください。

www.dirac.com/marantz/



Dirac Live の詳細については、Dirac Live のマニュアルをご覧ください。

https://manuals.marantz.com/DiracLiveRC_Sys1/ALL/JA/



テレビ

テレビ入力

テレビの音声を本機で再生するときに設定します。テレビの電源オン操作に連動して本機の電源がオンになり、自動的に入力ソースを“HDMI”または“Optical”に切り替えて、テレビの音声を本機で再生できます。

■ デフォルト入力

本機でテレビの音声を再生するときの入力ソースを設定します。テレビとの接続に使用する端子に合わせて設定してください(HDMI eARC/ARC または OPTICAL IN)。

無し / TV HDMI (eARC/ARC) / Optical In
(お買い上げ時の設定: TV HDMI(eARC/ARC))

■ 自動再生

本機にテレビの音声信号を入力すると、自動的に入力ソースを“デフォルト入力”で設定した入力ソースに切り替えて、テレビの音声を本機で再生する自動再生機能の設定をします。

オン
(お買い上げ時の設定): 自動再生機能を有効にします。

オフ: 自動再生機能を無効にします。



- “デフォルト入力”を“無し”に設定している場合は、自動再生機能ははたらきません。あらかじめ“デフォルト入力”の設定をおこなってください。
- 本機の OPTICAL IN 端子から入力された音声信号のサンプリング周波数が 88.2kHz 以上の場合、自動再生機能がはたらきません。テレビは一般的に 48kHz の音声信号を出力しますので自動再生機能がはたしますが、88.2kHz 以上の音声信号を出力する機器を接続すると自動再生機能がはたらかない場合があります。

HDMI パワーオフコントロール

HDMI 接続しているテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がスタンバイになる“HDMI パワーオフコントロール”機能の設定をします。

すべて
(お買い上げ時の設定):

本機の入力ソースに関わらず、テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。

TV HDMI (eARC/ARC):

入力ソースが HDMI のときにテレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。

オフ:

本機はテレビの電源に連動しません。

一般

アラーム

設定した時刻に、設定した入力ソースの音声を再生できます。毎日同じ時刻に再生したり、お好みの曜日にアラーム再生したりすることができます。

■ アラーム 1

オン:	アラーム 1 機能を有効にします。
オフ:	アラーム 1 機能を無効にします。

■ アラーム 2

オン:	アラーム 2 機能を有効にします。
オフ:	アラーム 2 機能を無効にします。

■ アラームを編集

アラーム 1 またはアラーム 2 を編集します。

- 1 カーソル 上/下を押して“アラーム 1”または“アラーム 2”を選び、ENTER を押す。
- 2 カーソル 上/下を押してアラーム開始時刻を設定し、ENTER を押す。
- 3 カーソル 上/下を押してお好みの設定を選び、ENTER を押す。

繰り返さない:	アラームをくり返しません。(一度きりのアラーム)
毎日:	アラームを毎日くり返します。
平日:	アラームを平日(月～金)のみくり返します。
週末:	アラームを週末(土、日)のみくり返します。
その他:	アラームのオン/オフを曜日ごとに設定します。オンに設定した曜日のみアラームをくり返します。

4 カーソル 上/下を押して入力ソースを選び、ENTER を押す。

CD / Tuner / HDMI / Optical / Phono / Line



- “Tuner”を選んだ場合は、続いてプリセット番号を選びます。

5 カーソル 上/下を押して音量の“00～100”を選び、ENTER を押す。

アラーム設定した内容を表示します。



- “スピーカー” - “アンプモード”の設定が“標準 (A、B または A +B)”の場合、スピーカー A およびスピーカー B の音量を個別に設定できます。

6 表示された設定内容を確認し、ENTER を押す。

“設定を完了しました”を表示し、設定が完了します。

時計

■ 現在の時刻の合わせかた

本機はインターネットを利用して自動的に現在時刻を合わせることができます。



- この機能をご使用になるときは、インターネットに接続する必要があります。

1 カーソル 上/下を押してあなたの住んでいる地域の標準時刻(タイムゾーン)を選び、ENTER を押す。

2 カーソル 上/下を押して夏時間を選び、ENTER を押す。

* 夏時間の設定は、必要に応じておこなってください。

オン: 夏時間をオンにします。

オフ
(お買い上げ時の設定): 夏時間をオフにします。

時計モード

スタンバイ時に時刻を表示する、時計モードの設定をします。

オン: スタンバイ時に時刻を表示します。

オフ
(お買い上げ時の設定): スタンバイ時に時刻を表示しません。



- “時計モード”を“オン”に設定している場合のスタンバイ時は、通常のスタンバイ時に比べて待機電力を多く消費します。

CDの自動再生

ディストレイを閉じたときに CD を検知し、自動で入力ソースを“CD”に切り替えて再生をはじめることができます。

オン
(お買い上げ時の設定): 自動再生します。

オフ: 自動再生しません。

ステータス表示 LED

ステータス表示 LED の明るさを調節します。また、ステータス表示 LED をディスプレイの明るさに連動させることもできます。

ディスプレイの明るさと同期 ステータス表示 LED の明るさは、ディスプレイの明るさと連動します。

100~0

言語

ディスプレイに表示する言語を設定します。

日本語 / English(お買い上げ時の設定: 日本語)

オートスタンバイ

入力信号がない状態で本機を操作しないときに、本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。

オフ (お買い上げ時の設定):	本機を自動的にスタンバイ状態にしません。
1 分:	約 1 分後に本機をスタンバイ状態にします。
5 分:	約 5 分後に本機をスタンバイ状態にします。
15 分:	約 15 分後に本機をスタンバイ状態にします。
カスタム:	1～99 分の間で本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。0～9 ボタンを使用して時間を設定したあと、ENTER ボタンを押して設定を確定します。

ファームウェア

現在のファームウェアのバージョン情報を表示します。

リセット

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。

お買い上げ時の設定に戻す: リセットします。

中止する: リセットしません。

ネットワーク

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

名前 / 接続 / SSID (Wi-Fi 電波強度) / DHCP / IP アドレス / MAC アドレス (イーサネット) / MAC アドレス (Wi-Fi)

Wi-Fi

Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。有線 LAN を使用して本機をネットワークに接続する場合に、高音質な再生ができます。

オン
(お買い上げ時の設定): Wi-Fi 機能をオンにします。

オフ: Wi-Fi 機能をオフにします。

Bluetooth

Bluetooth

Bluetooth の受信機能と送信機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

オン
(お買い上げ時の設定): Bluetooth 機能をオンにします。

オフ: Bluetooth 機能をオフにします。

ヘッドホン

Bluetooth ヘッドホン送信機能の有効/無効を設定します。本機の音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くときにおこなう設定です。

オン Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用します。

オフ
(お買い上げ時の設定): Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用しません。

出力モード

音声の出力方法を選択します。

ヘッドホン + スピーカー 音声は Bluetooth ヘッドホンとスピーカーに出力されます。
(お買い上げ時の設定):

ヘッドホン: 音声は Bluetooth ヘッドホンにのみ出力されます。

デバイス

- 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンがペアリングモードに入ると、使用可能な機器がデバイスリストに表示されます。リストから機器名を選択して本機とペアリングしてください。
- 本機に接続できる機器は 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth 機器を登録することができます。メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から登録済みの機器を切り替えることができます。
- 登録済みの機器をリストから削除したい場合は、カーソル上/下ボタンを押して機器名を選択後、OPTION ボタンを押して“このデバイスの登録を解除”を選択してください。



- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth 送信機能と Bluetooth 受信機能を同時に使用することはできません。Bluetooth 機器で音楽を聴いている場合、Bluetooth 送信機能は使用できません。
- “ヘッドホン”を“オン”に設定していても、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に設定すると、Bluetooth 受信機能が有効になります。スマートフォンなどの Bluetooth 機器に保存されている音楽を本機で再生したい場合は、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを Bluetooth に切り替えてから Bluetooth 機器と再接続してください。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、このメニューは使用できません。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	スタンバイ時でも、ネットワーク機能を停止しません。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。
オフ:	スタンバイ時に、ネットワーク機能を停止します。



- HEOS アプリをご使用になる場合は、“ネットワーク制御”を“オン”に設定してください。

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

AirPlay 設定

本機は、Apple 社の “WAC (Wi-Fi Accessory Configuration)” セットアップモードに対応しています。WAC セットアップモードでは、お手持ちの iOS デバイス (iPhone/iPod/iPad) を使用してネットワークに接続します。iOS デバイスと本機を接続することで、自動的に本機を同じネットワークに接続できます。

1. “AirPlay 設定”を選び、ENTER を押す。
 - 本機が WAC セットアップモードに切り替わります。
2. iOS デバイスの Wi-Fi 設定画面の下部にある “新しい AIRPLAY スピーカーを設定...” から “Marantz MCR 60n” を選ぶ。
 - あらかじめ、iOS デバイスが無線 LAN (Wi-Fi) ルーターに接続していることを確認してください。
3. 本機を接続するネットワークを選び、“次へ”を押す。
4. 画面の指示に従って接続を完了する。
 - 接続が完了すると、ディスプレイに “接続しました” を表示します。

ご注意

- iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。
- WAC セットアップモードは約 15 分間続きます。15 分以内にセットアップが完了しない場合、WAC セットアップモードは自動的に解除されます。手動で WAC セットアップモードを解除する場合は、BACK ボタンを押してください。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい	110
好みの音質に調節したい	110
原音に忠実な再生をしたい	110
テレビの音声を高音質に再生したい	110
HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい	110
ディスプレイを消灯したい	110
時刻を常に表示したい	111
ヘッドホンの音量をスピーカーの音量と合わせたい	111
電源オフ状態から簡単に操作したい	111
誤って音量が大きくならないようにしたい	111
スピーカーの構成や設置を変えたり、スピーカーを買い替えたりした場合に、最適なリスニング環境に設定したい	111
使用していない入力ソースを非表示にして選択できなくしたり、入力ソース名を変更したりしたい	111

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	113
------------------	-----

電源表示が点滅している	113
リモコンで操作ができない	115
本機のディスプレイが表示されない	115
音がまったく出ない	116
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	117
希望する音が出ない	119
AirPlay 再生ができない	120
USB メモリーが再生できない	121
USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない	122
Bluetooth が再生できない	122
インターネットラジオが再生できない	125
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)	126
各種オンラインサービスが再生できない	127
無線 LAN ネットワークに接続できない	127
ディスクが再生できない	128
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI/Optical)	129
入力ソースが“HDMI”または“Optical”に切り替わる	129
HDMI コントロール機能がはたらかない	129
アップデート/アップグレードエラーメッセージ	130

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい

- Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Wi-Fi”を“オフ”に設定してください。(🔍 106 ページ)
- Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Bluetooth”を“オフ”に設定してください。(🔍 107 ページ)

好みの音質に調節したい

- オプションメニューの“Dynamic Bass Boost”、“低音”、“高音”および“バランス”を設定してください。(🔍 81 ページ)

原音に忠実な再生をしたい

- オプションメニューの“サウンドモード”を“ダイレクト”に設定してください。(🔍 83 ページ)

テレビの音声を高音質に再生したい

- 本機の HDMI eARC/ARC 端子にテレビを接続する場合、eARC/ARC 機能に対応した HDMI 入力端子に接続してください。(🔍 27 ページ)
- eARC/ARC 機能に非対応のテレビや、HDMI 端子が無いテレビと接続する場合、光デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(🔍 27 ページ)

HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい

- “HDMI パワーオフコントロール”の設定を“オフ”にしてください。(🔍 101 ページ)

ディスプレイを消灯したい

- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(🔍 83 ページ)

時刻を常に表示したい

- “時計モード”の設定を“オン”にすると、時刻を常に表示できます。(P.104 ページ)

ヘッドホンの音量をスピーカーの音量と合わせたい

- “HP アンブゲイン”の設定を変えることで、スピーカーの音量を変えずにヘッドホンの音量のみを調節できます。(P.96 ページ)

電源オフ状態から簡単に操作したい

- リモコンの入力ソース選択ボタン、**PII** ボタン、SMART SELECT ボタンおよび本体の **△** キー、SMART SELECT ボタン、**PII** キーを押すと、起動と同時に各動作をおこないます。
- “ネットワーク制御”の設定を“オン”にすると、AirPlay や HEOS アプリから起動と同時に再生操作ができます。(P.108 ページ)

誤って音量が大きくならないようにしたい

- 設定メニューの“音量の上限”で音量の上限値をあらかじめ設定してください。小さな子供が誤って音量を上げすぎることを防ぎます。(P.96 ページ)

スピーカーの構成や設置を変えたり、スピーカーを買い替えたりした場合に、最適ナリスニング環境に設定したい

- 設定メニューの“スピーカー” - “レスポンス”を設定してください。(P.98 ページ)

使用していない入力ソースを非表示にして選択できなくしたり、入力ソース名を変更したりしたい

- HEOS アプリの“外部入力”で入力ソースを選択し、設定してください。(“設定” - “ミュージックソース” - “外部入力” - (“あなたのデバイス名”))
設定内容は、本機のディスプレイ表示にも反映されます。

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか



- 上記の手順 1～3 をおこなっても動作が改善しない場合、本機を再起動すると改善することがあります。
ディスプレイに “Restart” が表示されるまで、本体の  ボタンを押し続けるか、本機の電源コードを抜き差ししてください。

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.34 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。本体の  ボタンを押すかリモコンの  ボタンを押してください。(P.37 ページ)

電源が自動的に切れる。

- スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。(P.84 ページ)
- “オートスタンバイ”が設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、設定メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。(P.105 ページ)
- “HDMI パワーオフコントロール”が設定されています。HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。“HDMI パワーオフコントロール”を無効にするには、設定メニューの“HDMI パワーオフコントロール”を“オフ”に設定してください。(P.101 ページ)

電源表示が点滅している

電源が切れ、電源表示が橙色に点滅している。

【1 回点滅＋短く 2 回点滅】

- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

【1 回点滅＋短く 3 回点滅】

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

【1 回点滅+短く 4 回点滅】

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れ直しても解決しない場合、電源コードを抜き当社の修理相談窓口までご連絡ください。

【1 回点滅+短く 5 回点滅】

- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.21 ページ)
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路または電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

【1 回点滅+短く 6 回点滅】

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源表示が橙色に点滅している。

- 電源が一度切れたことなどにより時刻がずれています。ネットワーク接続を確認して時刻を設定してください。(P.103 ページ)

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.9 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.9 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.9 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- ディスプレイに“Remote Lock”と表示される場合は、リモートロックを解除してリモコン信号の受信機能を有効にしてください。(P.91 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- リモコンの DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(P.83 ページ)

音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(P.19 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(P.20 ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締め付けがゆるんでいないか確認してください。(P.21 ページ)
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(P.38 ページ)
- 音量を適切な大きさに調節してください。(P.38 ページ)
- ミューティング(消音)モードを解除してください。(P.38 ページ)
- 外部機器から本機に音声を入力している場合、適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(P.38 ページ)
- 接続した機器のデジタル音声出力の設定を確認してください。機器によってはお買い上げ時の設定が“オフ”になっていることがあります。
- 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子、サブウーハー端子およびアナログ音声出力端子から音が出なくなります。(P.12 ページ)
- Bluetooth 接続で再生する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングしてください。(P.47 ページ)
- Bluetooth ヘッドホンを使用して“出力モード”を“ヘッドホン”に設定している場合、スピーカー端子や音声出力端子から音声は出力されません。Bluetooth ヘッドホンを使用しているときにスピーカー端子や音声出力端子から同時に音声を出力したい場合は、“出力モード”の設定を“ヘッドホン + スピーカー”に変更してください。(P.50 ページ)
- マルチドライブ接続時に、スピーカー A またはスピーカー B のみが選択されている場合があります。スピーカーが正しく接続されていることを確認後、SPEAKER A/B ボタンを押して設定を確認してください。(P.86 ページ)

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

インターネットラジオや USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。

- USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。
- ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。

携帯電話で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。

- 携帯電話を本機から 20cm 以上離して通話してください。

CD-R/CD-RW を再生中に音が途切れる。

- ハイレゾリューション音源が記録された CD-R/CD-RW を再生すると、音が途切れることがあります。
- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。

Wi-Fi 接続時に音が途切れる。

- 無線 LAN で使用する周波数帯域は、電子レンジ・コードレスフォン・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・その他の無線 LAN 機器で使します。そのため、これらの機器と本機を同時に使用すると、電波干渉により音途切れが発生する場合があります。次の方法をおこなうと、音途切れが改善される場合があります。(P.32 ページ)
 - 干渉している機器を本機から離して設置する。
 - 干渉している機器の電源を切る。
 - 本機に接続しているルーターのチャンネル設定を変更する。(チャンネルの変更のしかたは、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
 - 有線 LAN 接続に切り替える。
- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。(P.106 ページ)

FM 放送または AM 放送の雑音が多い。

- アンテナの向きや位置を変えてください。(P.30 ページ)
- 屋外アンテナを使用してください。(P.30 ページ)
- AM ループアンテナと本機を離してください。(P.30 ページ)
- アンテナと他の接続ケーブルを離してください。(P.30 ページ)

レコード再生のときに、音がひずむ。

- 針圧を調節してください。
- レコードの針先を確認してください。
- カートリッジを交換してください。

レコード再生のときに、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される。

- レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。(P.28 ページ)
- レコードプレーヤーの近くにテレビや AV 機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビや AV 機器などから離して設置してください。

レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音がスピーカーから出力される。(ハウリング現象)

- レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。(P.28 ページ)
- スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。

希望する音が出ない

音量が上がらない。

- 音量の上限値が低く設定されています。設定メニューの“音量の上限”で上限値を設定してください。(P.96 ページ)

ヘッドホンの音量が小さい。

- インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使用するときは、設定メニューの“HP アンプゲイン”の設定を“高”に切り替えてください。(P.96 ページ)

左右の音量バランスが悪い。

- オプションメニューの“バランス”で設定してください。(P.82 ページ)

サブウーハーから音が出ない。

- サブウーハーの接続を確認してください。(P.25 ページ)
- サブウーハーの電源を入れてください。
- 設定メニューの“サブウーハー”を“オン”に設定してください。(P.99 ページ)

オプションメニューの“DBB/Tone”の設定が反映されない。

- “Dynamic Bass Boost”、“低音”および“高音”の設定は、音声出力(“固定出力”設定時のみ)およびサブウーハー出力には反映されません。
- オプションメニューの“サウンドモード”を“ダイレクト”以外の設定にしてください。(P.83 ページ)
- オプションメニューの“DBB/Tone”設定は Bluetooth ヘッドホンの音声出力には反映されません。

AirPlay 再生ができない

iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac 上に AirPlay のアイコンが表示されない。

- 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク (LAN) に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。(P.32 ページ)
- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。

音が出ない。

- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の音量が最小になっています。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の音量と本機の音量は連動しています。適切な値に設定してください。
- AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の画面で AirPlay アイコンをクリックして、本機を選択してください。(P.77 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad/Mac で AirPlay 再生時に音が途切れる。

- iPhone/iPod touch/iPad/Mac のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。
- 無線接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。

USB メモリーが再生できない

USB メモリーが認識できない。

- USB メモリーを接続し直してください。(142 ページ)
- マスストレージクラス対応の USB メモリーに対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは直接接続してください。
- USB メモリーのフォーマットを“FAT32”または“NTFS”に設定してください。
- すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続してください。

USB メモリー内のファイルを表示しない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(142 ページ)
- 本機が表示できるファイルのフォルダ階層は最大 8 階層です。また、1 階層あたり最大 5000 ファイル(フォルダ)です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。
- USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。

iOS および Android 機器が認識できない。

- 本機の USB 端子は、iOS および Android 機器の再生には対応していません。

USB メモリー内のファイルを再生できない。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(142 ページ)
- 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- ファイルサイズが 2MB を超えるアルバムアートを使用している場合、再生できない場合があります。

USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

ファイル名が“...”など、正しく表示されない。

- 表示できない文字が使われています。故障ではありません。本機で表示できない文字は、“.”(ピリオド)”に置き換えて表示します。

Bluetooth が再生できない

本機に Bluetooth 機器が接続できない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度接続をお試しください。
- 設定メニューの“Bluetooth”を“オン”に設定してください。“Bluetooth”を“オフ”に設定している場合は、Bluetooth 機能がはたらかません。(🔍 107 ページ)

スマートフォンなどの Bluetooth 機器と接続できない。

- “ヘッドホン”を“オン”に設定している場合は、スマートフォンなどの Bluetooth 機器を接続できません。リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に切り替えてから Bluetooth 機器を接続してください。(🔍 107 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを接続できない。

- Bluetooth ヘッドホンを本機に近づけてください。
- Bluetooth ヘッドホンの電源を入れ直してからお試しください。
- 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で、“ヘッドホン”を“オン”に設定してください。(107 ページ)
- 本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されていないことを確認してください。設定メニューの“デバイス”設定で、Bluetooth ヘッドホンの接続状態を確認できます。(107 ページ)
本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されている場合は、現在接続されている Bluetooth ヘッドホンを切断してから、使用したい Bluetooth ヘッドホンを接続してください。
- 入力ソースを Bluetooth に設定している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。Bluetooth ヘッドホンを使用する場合は、本機をグループから外してください。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- Bluetooth ヘッドホンが A2DP プロファイルに対応していない場合は、本機に接続することはできません。
- 著作権保護技術(SCMS-T)に対応した Bluetooth ヘッドホンのご使用をおすすめします。すべての Bluetooth 機器に対して接続や動作を保証するものではありません。
- 本機に接続できる Bluetooth ヘッドホンは 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth ヘッドホンを登録することができます。設定メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から登録済みの機器を切り替えることができます。(107 ページ)

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth の再接続操作をおこなってください。

Bluetooth ヘッドホンを使用すると音が途切れる、またはノイズが発生する。

- Bluetooth ヘッドホンを実機に近づけてください。
- 本機と Bluetooth ヘッドホンの間にある障害物を取り除いてください。
- Bluetooth ヘッドホンを再接続してください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- 本機および他の機器のルーターへの接続は、有線 LAN 接続をおすすめします。
- Bluetooth は 2.4GHz 帯域を使用しており、Wi-Fi の 2.4GHz 帯域の電波と干渉する可能性があります。使用しているルーターの Wi-Fi が 5GHz 周波数帯域に対応している場合、本機および他の機器の Wi-Fi 接続を 5GHz 周波数帯域に変更してください。

Bluetooth ヘッドホンの音声が遅延する。

- 本機は Bluetooth ヘッドホンの音声遅延を調節することはできません。

インターネットラジオが再生できない

ラジオ局のリストが表示されない。

- LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。(P.32 ページ)

インターネットラジオが再生できない。

- 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは WMA、MP3 と MPEG-4 AAC です。(P.148 ページ)
- ルーターのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。
- ルーターの電源が入っているか確認してください。
- 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。(P.40 ページ)
- ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。

お気に入りの登録したラジオ局に接続できない。

- ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。

パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)

パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。

- ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。(P.147 ページ)
- 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- 本機の USB 端子にパソコンを接続しても、パソコン内の音楽ファイルは再生できません。パソコンはネットワーク経由で本機に接続してください。(P.32 ページ)
- メディアの共有設定が正しくありません。本機がアクセスできるように設定を変更してください。詳しくはメディアの取扱説明書をご覧ください。

サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。

- パソコンまたはルーターのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルーターのファイアウォールの設定を確認してください。
- パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。
- サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。

パソコン内やNAS内のファイルが表示されない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.147 ページ)

NAS に保存した曲が再生できない。

- DLNA 準拠の NAS をご使用の場合は、NAS の設定で DLNA サーバー機能を有効にしてください。
- DLNA に準拠していない NAS をご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。また、Windows Media Player のメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダに NAS を追加してください。
- 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。

各種オンラインサービスが再生できない

各種オンラインサービスが再生できない。

- サービスが終了している可能性があります。

無線 LAN ネットワークに接続できない

ネットワークに接続できない。

- HEOS 機能搭載機器の設定をおこなう前に、スマートフォン/タブレットが無線 LAN ネットワークでホームネットワークに接続されていることを確認してください。(p.55 ページ)
- LAN ケーブル(市販)を使用して、本機をネットワークルーターに接続できます。LAN ケーブルで接続すると HEOS アプリは本機を認識しますので、“Settings” - “My Devices” - (“デバイス名”) - “ネットワーク”から接続する無線 LAN ネットワーク名を選び、手動で接続してください。
- 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しをよくしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。
- アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。
- 本機は WEP(TSN)との互換性はありません。

iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。

- iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。
- また、無線接続で設定する場合は、iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。

ディスクが再生できない

再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。

- ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。
( 145 ページ)

CD-R/CD-RW が再生できない。

- ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。( 139 ページ)
- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。
- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。( 140 ページ)

“Disc がありません”と表示される。

- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“Disc がありません”を表示します。

“システムエラー”と表示される。

- ディスクやフォーマットに起因しないエラーが起きた場合には、“システムエラー”を表示します。当社の修理相談窓口までご連絡ください。

“Disc が読めません”と表示される。

- 本機が対応していないディスクを入れたり、汚れや傷のあるディスクを入れたりして本機がディスクを読み込めない場合には、“Disc が読めません”を表示します。ディスクを確認してください。

“非対応ファイル形式”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されている場合には、“非対応ファイル形式”を表示します。本機が対応しているフォーマットを確認してください。( 140 ページ)

デジタル機器の音声を再生できない(HDMI/Optical)

“入力無し”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。(P.74 ページ)

“非対応です”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。(P.74 ページ)

入力ソースが“HDMI”または“Optical”に切り替わる

本機に接続しているテレビの電源を入れると入力ソースが“HDMI”または“Optical”に自動的に切り替わる。

- 設定メニューの“自動再生”を“オフ”に設定してください。(P.100 ページ)

HDMI コントロール機能がはたらかない

HDMI コントロール機能がはたらかない。

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているテレビの HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。

アップデート/アップグレードエラーメッセージ

アップデート/アップグレードが中断または失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ディスプレイ	内容
Connection failed. Please check your network, then try again.	ネットワークの回線が不安定です。 サーバーとの接続に失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Update failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Upgrade failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Please check your network, unplug and reconnect the power cord, and try again.	アップデートに失敗しました。 本体の ⏻ ボタンを 5 秒以上長押しするか、電源コードを挿入し直してください。 アップデート後は自動的に再起動します。
Please contact customer service in your area.	機器が故障している可能性があります。 お客様相談センターにお問い合わせください。

ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す

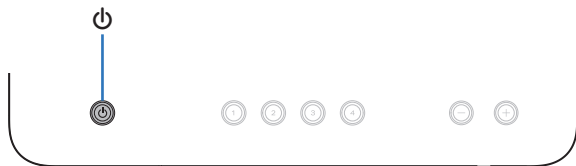
ネットワークコンテンツの再生やネットワーク接続ができない場合に、本機を再起動すると、改善することがあります。お買い上げ時の設定に戻す前に、再起動することをおすすめします。(P.112 ページ)

再起動しても動作が改善しない場合に、この操作をおこなってください。

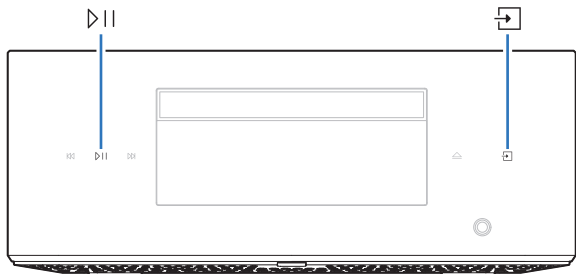
ネットワーク設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。

ただし、設定メニューの“オーディオ”の設定は、リセットされません。

【トップパネル】



【フロントパネル】



- 1 本体の  を押して、本機の電源を入れる。
- 2 リモコンの USB ボタンを押して、入力ソースを“USB Music”に切り替える。
 - システム起動中を示す回転アイコンが表示される場合は、アイコンが消えるのを待ってから次の手順をおこなってください。
- 3 本機の電源が入っているときに、本体の  をタッチしながら  を 3 秒以上長押しする。
- 4 ディスプレイに“しばらくお待ちください”が表示されたら、2 つのボタンから指を離す。
- 5 リセットが完了すると、ディスプレイに“完了しました”を表示する。

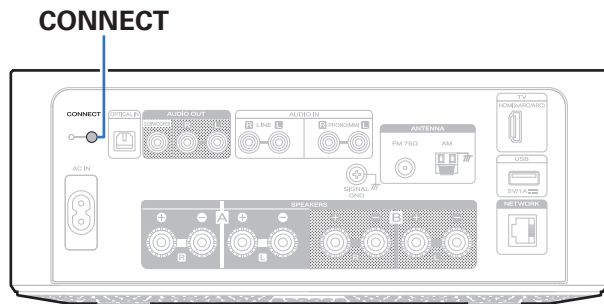
ご注意

- リセットが完了するまで、電源を切らないでください。

ファクトリーリストア

本機やネットワーク機能が正しく動作しない場合に、お買い上げ時のファームウェアに復元すると改善できる場合があります。設定メニューの“一般” - “リセット”を試しても動作しない場合にこの操作をおこなってください。(p.105 ページ)

ファクトリーリストアをおこなうと各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度ネットワーク設定およびファームウェアのアップデートをおこなってください。



警告

ファクトリーリストアを開始すると、本機に制限付きリカバリーファームウェアがインストールされます。インターネット経由でファームウェアのアップデートがおこなわれるまで、機能は制限されたままです。本機をネットワークに接続していない場合は、ファクトリーリストアをおこなわないでください。

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 CONNECT を押しながら、電源コードを差し込む。
- 3 ディスプレイに“Factory Restore”が表示されたら、ボタンから指を離す。

ファクトリーリストアが完了するとディスプレイに“Factory Restore Completed”が約 5 秒間表示され、本機を自動的に再起動します。



- この操作はネットワークへの再接続、ファームウェアの復元およびアップデートを伴うため時間がかかります。
- この操作をおこなっても改善できない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。

ご注意

- ファクトリーリストアが完了するまで、電源を切らないでください。

保証と修理について

■ 保証書について

- 保証書は、同梱の「かんたんスタートガイド」に収録していません。

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 修理基本料……サービス体制の維持や見積後の追加作業発生に伴う作業遅延防止を目的とした料金です。
- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

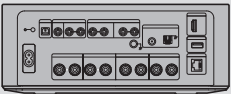
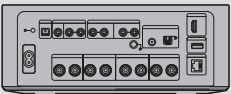
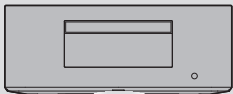
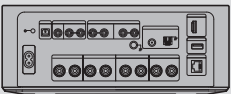
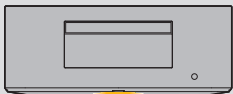
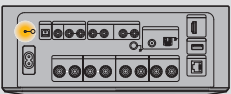
- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……製品底面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

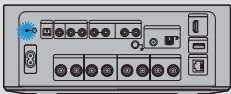
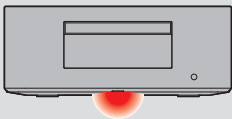
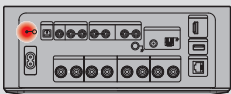
■ お客様の個人情報の保護について

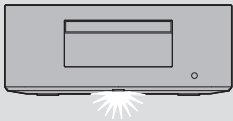
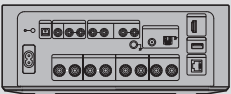
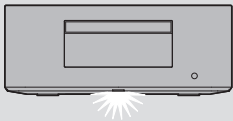
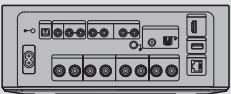
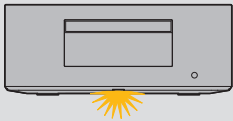
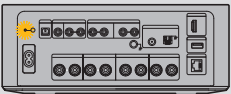
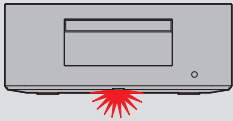
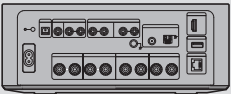
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

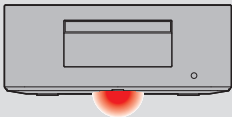
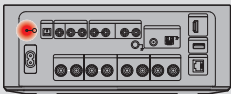
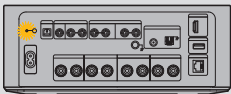
ステータス表示LEDについて

本機の状態により、フロントパネルのステータス表示 LED およびリアパネルの接続 LED が変化します。

本機の状態	フロントパネル LED 表示	リアパネル LED 表示	説明
スタンバイ	 (消灯)	 (消灯)	電源オフ、またはスタンバイです。(137 ページ)
電源オン	 (点滅)	 (消灯)	起動中、およびネットワークに接続中です。
	 (点灯)	 (消灯)	ネットワークに接続しました。
	 (点灯)	 (点灯)	ネットワークに接続できません。ネットワークに接続し直してください。

本機の状態	フロントパネル LED 表示	リアパネル LED 表示	説明
Bluetooth	 (2 回点滅(繰り返し))	 (2 回点滅(繰り返し))	Bluetooth のペアリングモード中です。
	 (点灯)	 (消灯)	Bluetooth 接続が完了しました。
	 (約 3 秒間点灯)	 (約 3 秒間点灯)	Bluetooth 機器とのペアリングに失敗しました。ペアリングし直してください。(P.47 ページ)

本機の状態	フロントパネル LED 表示	リアパネル LED 表示	説明
音量設定	 (中速点滅)	 (消灯)	音量調節中です。
	 (低速点滅)	 (消灯)	ミュート中です。
アップデート	 (点滅)	 (点滅)	ファームウェアのアップデート中です。
	 (低速点滅(暗くならない))	 (消灯)	ファームウェアのエラーです。お使いの環境を確認し、アプリを再起動したあとに再度ファームウェアのアップデートをおこなってください。

本機の状態	フロントパネル LED 表示	リアパネル LED 表示	説明
エラー	 (点灯)	 (点灯)	セットアップエラーです。お使いの環境を確認し、正しい操作手順でセットアップし直してください。それでもエラー表示される場合は、お買い上げ時の設定に戻したあとにセットアップし直してください。(P.132 ページ)
リセット	 (点滅)	 (点滅)	お買い上げ時の設定に戻しています。

ディスクの再生について

再生できるメディア	
CD	
CD-R	
CD-RW	

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ファイル

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生します。

■ ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1

- 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計: 512 個

最大フォルダ数: 256 個

■ ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3

WMA (Windows Media Audio)

■ タグ情報

ID3 タグ (Ver. 1.x と 2.x)

META タグ (タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	64~192kbps	.wma

で注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- Mac OS で作成したファイルの中で、ファイル名の先頭に “.” が付いているファイルは、音楽データでないため再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できません。
 - インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイル名のアルファベット順に再生します。

CD-R/CD-RW

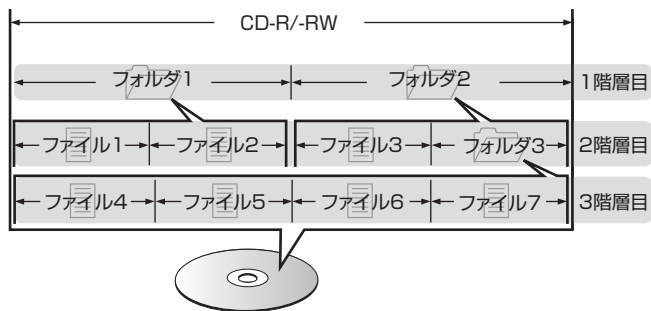
CD-R および CD-RW に記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ……の順番に再生します。



- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。

フォルダとファイルについて

CD-R/CD-RW に記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 16 階層まで認識できます。



- 音楽ファイルを CD-R/CD-RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

USB メモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/Apple Lossless/DSD)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48～192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48～320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6/11.2MHz	-	.dsf/.dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。

インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC) デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>)に基づいて配布されています。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目 \ メディア	USB メモリー
フォルダの階層数 *1	8 階層
フォルダ数	500
ファイル数 *2	5000

*1 制限数にはルートフォルダを含みます。

*2 USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

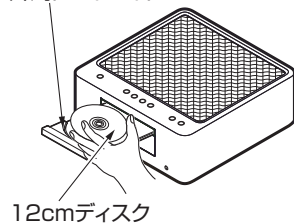
メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド(図 1)に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド(図 2)に合わせて、水平に載せてください。

【図1】

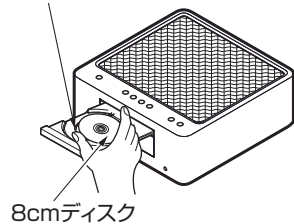
外周トレイガイド



12cmディスク

【図2】

内周トレイガイド



8cmディスク

- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて載せてください。

ご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



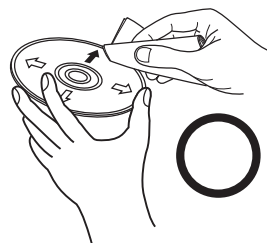
- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイにはディスク以外の物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

メディアの取り扱いについて

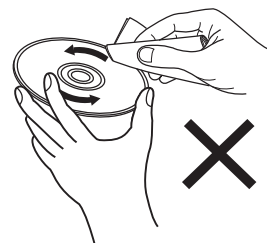
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがあります。ヘアドライヤーなどで乾かささないでください。
- USB メモリーの再生中に USB メモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしたりしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USB メモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USB メモリーやファイルが壊れることがあります。USB メモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形した USB メモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ず USB メモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

デジタル入力

■ 再生できる音声信号の仕様

□ HDMI eARC/ARC

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	16/20/24 ビット
マルチチャンネルリニア PCM (7.1 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	16/20/24 ビット
Dolby Digital (5.1 チャンネル)	48kHz	—
Dolby Digital Plus (7.1 チャンネル)	48kHz	—

□ Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	16/20/24 ビット
Dolby Digital (5.1 チャンネル)	48kHz	—

Bluetooth 機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

■ Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

パソコンやNASに保存されているファイルの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/WAV/FLAC)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6/11.2MHz	-	.dsf/.dff

- *1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC)デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>)に基づいて配布されています。

インターネットラジオの再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48～192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	48～320kbps	.aac/ .m4a

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。

HDMI について

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **eARC(Enhanced Audio Return Channel)/ARC(Audio Return Channel)機能**

eARC/ARC 機能対応のテレビと本機を HDMI 接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。

- **HDMI コントロール機能**

HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールできます。

- 入力ソースの切り替え

テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースがテレビに切り替わります。

- 電源オフ連動

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。

- 音量調節

テレビのリモコンを使用して、本機の音量を調節できます。

- 音声出力先の切り替え

本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。



- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。

用語の解説

■ Dirac Live

Dirac Live® Room Correction

Dirac Live®は、Dirac Research によって開発された高度な部屋補正テクノロジーです。周波数応答および室内スピーカーのインパルス応答を補正し、イメージングと音色の改善、明瞭さの向上、低音の引き締まり、初期反射の低減、共鳴などを低減します。ハイエンド AVR、ロールスロイス、BMW、ベントレーなどの高級車のサウンドシステムや、世界中の何千ものハイエンドデジタルシネマシアターで使用されています。

■ Dolby

Dolby Digital

Dolby Digital は、ドルビーラボラトリーズにより開発されたマルチチャンネルデジタル信号フォーマットです。再生チャンネルは、フロント 3 チャンネル (FL、FR、C) とサラウンド 2 チャンネル (SL、SR)、低音域専用の LFE チャンネルの合計 5.1 チャンネルで構成されています。このため、チャンネル間のクロストークもなく、音の遠近感、移動感、定位感など立体感のある音場をリアルに再現することができます。AV ルームでの映画ソフト再生においても、リアルで圧倒的な臨場感を生み出します。

Dolby Digital Plus

Dolby Digital Plus は、Dolby Digital を改良した信号フォーマットで、最大 7.1 チャンネルのデジタルディスクリート音声対応とともに、データビットレートに余裕を持たせることにより音質の向上が図られています。従来の Dolby Digital に対して上位互換であるため、ソース信号や再生機器の状況に応じて、より柔軟性の高い運用が可能となっています。

■ 音声

Apple Lossless Audio Codec

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60～70%に圧縮されたデータは完全に元どおりのデータに再現できます。

DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC(Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright(C)

2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3(MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ビットレート

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone、iPod touch、iPad、Mac に収録されているコンテンツをネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

WEP Key(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

WPA(Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi アライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来の SSID(ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2(Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi アライアンスが策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA/WPA2 パーソナル

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

WPA2/WPA3 パーソナル

WPA2/WPA3 パーソナルモードは Wi-Fi Alliance®によって定義されています。ユーザーの混乱を最小限に抑え、WPA2 パーソナルのみのデバイスとの相互運用性を維持しながら WPA3 パーソナルへの段階的な移行パスを提供します。

WPA3 パーソナル

WPA2-Personal Pre-Shared Key (PSK) 認証を Equals の同時認証 (SAE) に置き換えます。PSK とは異なり、SAE はオフライン辞書攻撃に耐性があります。

ネットワーク名 (SSID: Service Set Identifier)

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID (ネットワーク名)」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

■ その他

ファイナライズ

DVD/CD などのレコーダーで収録したディスクを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

ペアリング

ペアリング (登録) とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

登録商標について



Apple, AirPlay, iPad, iPad Air, iPad Pro, iPhone and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、DEI Sales, Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。



Dolby, Dolby Audio 及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。



HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI のトレードドレスおよび HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。



App Store®は、米国およびその他の国における登録商標です。

ROON READY

Being Roon Ready means that Marantz uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.



© 2018 Dirac Research AB. 版權所有。Dirac、Dirac Live および Dirac ロゴは、Dirac Research AB の商標です。

主な仕様

■ オーディオ部

• CD プレーヤー部

再生周波数特性:

10 Hz~20 kHz

ワウ・フラッター:

測定限界($\pm 0.001\%$ W.peak)以下

サンプリング周波数:

44.1 kHz

• オーディオ部

定格出力:

2 チャンネル

65W + 65W(4 Ω , 1kHz, THD+N 0.7%)

出力端子:

スピーカー: 負荷 4~16 Ω

ヘッドホン/ステレオヘッドホン適合

入力感度/インピーダンス:

アナログ入力: 200mV/30k Ω

全高調波歪率(1kHz, 5W, 4 Ω):

Analog In: 0.1 %

S/N 比(10W, 4 Ω , IHF-A):

Analog In : 90dB

トーンコントロール:

DBB: +8dB(100Hz)

低音: ± 10 dB(50Hz)

高音: ± 10 dB(15kHz)

- オーディオ入力

入力感度/インピーダンス:	200mV/30k Ω
周波数特性:	10Hz~40kHz(± 3 dB)
S/N 比(10W、4 Ω 、IHF-A):	90dB
全高調波歪率(1kHz、5W、4 Ω):	0.1%

- Phono

入力感度/インピーダンス:	2.5mV/47k Ω
周波数特性:	20Hz~20kHz
S/N 比(IHF-A):	74dB

■ チューナー部

受信周波数帯域:

実用感度:

FM ステレオ分離度:

FM S/N 比:

FM 全高調波歪率(1kHz):

[FM]

76.0MHz~95.0MHz

1.2 μ V/75 Ω

42dB(1kHz)

モノラル:70dB

ステレオ:70dB

モノラル:0.4%

ステレオ:0.4%

[AM]

522kHz~1629kHz

20 μ V

■ 無線 LAN 部

ネットワーク種類(無線 LAN 規格):

IEEE 802.11a/b/g/n 準拠
(Wi-Fi[®]準拠)*1

セキュリティ:

WEP 64bit, WEP 128bit
WPA/WPA2-PSK(AES)
WPA/WPA2-PSK(TKIP)

使用周波数帯域:

2.4GHz、5GHz

*1 Wi-Fi[®]準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

■ Bluetooth 部

音声フォーマット:	SBC
オーディオ・アプリケーション:	Classic オーディオ (AVRCP)- 受信 Classic オーディオ- 送信
送信出力:	Power Class 1
一般通信範囲:	見通し距離 30m *2

*2 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ 時計/アラーム/スリープ

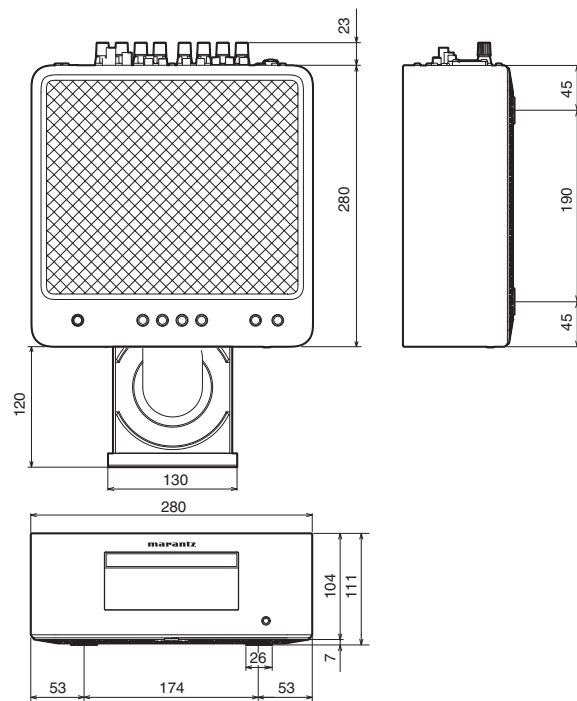
時計方式:	電源周波数同期方式(月差±60 秒以内)
アラーム:	アラーム 1/アラーム 2:2 種類
スリープ:	スリープタイマー:最大 90 分

■ 総合

動作温度:	+5 °C~+35 °C
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	55W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W
“ネットワーク制御”-“オン”時の消費電力:	3W
電池の種類:	マンガン乾電池(リモコン用)

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量 :4.2kg

索引

A

AirPlay 76

B

Bluetooth 機器 47

C

CD 64

D

Dirac Live 83, 96, 99

H

HEOS アカウント 57

HEOS お気に入り 80

N

NAS 41, 147

S

Spotify 78

U

USB メモリー 29, 44

I

インターネットラジオ 39

O

オートスタンバイ 105

K

キュー 42, 45

G

故障かな？と思ったら 112

こんなときの解決方法 110

S

スリープタイマー 84

S

設定メニュー一覧 93

D

ディスプレイの明るさ 83

データ CD 67

T

トップパネル 10

I

入力ソース 38

N

ネットワークの設定 106

ネットワークの設定をお買い上げ時の設定
に戻す 131

P

パソコン 32, 41, 147

P

プログラム再生 66

フロントパネル 10

P

ペアリング 47

M

ミュートイング 38

W

無線 LAN の接続 33

ゆ	
有線 LAN	32

り	
リアパネル	13
リモコン	15

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録

marantz

5411 12193 00AS